

＜LGBT職場環境アンケート報告会＞ データを職場環境改善のチカラに

2014/5/3 東京 5/9 大阪

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ
共同研究：国際基督教大学 ジェンダー研究センター(略称:CGS)
(この事業はラッシュジャパンの助成金を受け実施しています)



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

目次

- 調査の概要
- 調査結果の報告
- まとめ
- 添付資料
 - 属性別基礎集計表
 - その他のデータ間の関連

調査の概要



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

実施者について

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

- 性的マイノリティがいきいきと働ける職場環境づくりをめざすNPO法人
- 2012年から活動、常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ6名＋会員、賛助会員

<主な実績>

- LGBTに関する勉強会講師(企業、行政、一般向け)
- 企業とコラボした啓発イベント:CSR勉強会@大阪ガス、WorkWithPride@SONY
- コンサルティング(個別相談):企業や行政のLGBT施策を支援
- 調査・研究:職場環境に関するアンケート調査、企業担当者へのヒアリング
- メディア掲載:新聞各紙、ラジオ、CSテレビ、雑誌
- 成果物:アンケート調査結果、性別移行ヒアリングシート、人権CSRガイドライン
- 啓発グッズ:リーフレット、ステッカー、ボールペン、カレンダー、パネル
- 事務所:ダイバーシティや多文化共生を支援する団体が集まるシェアオフィス(ダイバーシティラボ大阪)に入居
- その他:TokyoRainbowWeek主催団体のひとつ、関西のパレードも応援

共同研究機関について



国際基督教大学 ジェンダー研究センター(CGS@ICU)

- ジェンダー・セクシュアリティの研究に関心がある人たち全てに開かれたコミュニケーションスペース
- 2004年4月発足、所員22名、常勤職員1名、特別職員1名、非常勤助手6名、有志学生
- 学外の個人・団体とも積極的にネットワークを構築
- 学部専攻分野「ジェンダー・セクシュアリティ研究」をサポート

<主な実績>

- ニューズレター、ジャーナルを各年1回発行
- シンポジウム、講演会、ワークショップ等を開催。6月にはイベント週間「R-Week」を実施
- 2013年R-Weekでは虹色ダイバーシティ第1回web調査の報告講演会を開催
- 2008年「日英LGBTユース・エクスチェンジ・プロジェクト」日本側コーディネーター
- 2012年「LGBT学生生活ガイド：GID/TG編」発行、取材多数(他大学、中学、高校、メディア)
- 2013年「ICU授乳室」開室・運用をサポート
- 2013年「ジェンダー・セクシュアリティ特別相談窓口」を開設(週1回、全学構成員対象)
- 所在地：東京都三鷹市(JR中央線「武蔵境」駅からバス15分+学内徒歩) 平日11-17時開室

共同研究者リスト

- 村木 真紀(虹色ダイバーシティ代表)
- 小林 和香(虹色ダイバーシティ事務局)
- 田中 かず子(CGS研究員)
- 川口 遼(CGS準研究員)
- 二木 泉(CGS準研究員)
- 平森 大規(ICU卒業生)
- 加藤 悠二(CGS事務局長)

- 協力: 虹色ダイバーシティ スタッフ一同

アンケートの背景と目的

【背景】

- ・日本では、職場でカミングアウトするLGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字)等の性的マイノリティ当事者がまだ少ないため、企業や行政などで、どのような困難があり、どんなニーズを持っているのか、把握が難しい
- ・LGBT施策を推進するために、その効果を明示する必要がある

【このアンケートの目的】

ダイバーシティ施策全体も視野に入れつつ、LGBT等の性的マイノリティが働きやすい職場づくりを推進するための日本のデータを積み上げる

アンケート調査概要

ご協力をお願いします!

LGBTに関する 職場環境アンケート 2014

このアンケートはLGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字)等の性的マイノリティが働きやすい職場づくり、及び、性的マイノリティも含む職場のダイバーシティ施策推進のための調査です。日本の職場で働いた経験のある方でしたらどなたでも回答できますので、是非ご協力をお願いいたします。

回答期間 2月14日(金)～3月31日(月)
URL <https://jp.surveymonkey.com/s/SBCDMSH>
必要端末 パソコン、スマートフォン、タブレットから回答可能(右のQRをご利用ください)
設問数 全30問(標準回答時間 15分～20分)



アンケートの結果は、統計処理の上、
虹色ダイバーシティのホームページ等で公開予定です。

ご注意

- ・アンケートの対象者は、日本の職場で働いた経験のある方です。アルバイトなどの非正規雇用も含みます。
- ・会社名やメールアドレスなど、個人が特定可能な情報を記入する箇所はありません。
- ・性的マイノリティの当事者も、当事者以外の方も回答する事が出来ます。
- ・複数の方が同じ端末から回答する事はできません。

 NIIJIRO DIVERSITY
特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ
http://www.nijiroidiversity.jp/

[問合せ先] 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ
http://www.nijiroidiversity.jp/

- ・ ウェブ上のアンケートフォーム(SurveyMonkey 有料版)
 - ・ 2014/2/14-3/31(45日間)
 - ・ 参加者 1,815人(2013年は1,124人)
- ※途中までの回答者も含む
- ・ Twitter、Facebook、mixi、当事者団体のメーリングリスト、左記チラシ(2,000部)、既存の虹色ダイバーシティのクライアントへの協力依頼等で周知
 - ・ 国際基督教大学ジェンダー研究センターとの共同研究
 - ・ ラッシュジャパン様 助成事業

アンケート冒頭のただし書き

【事前に必ずお読みください】

- ・回答項目は全部で30問あり、標準的な回答時間は15分～20分です。
- ・アンケートの対象者は、**日本の職場で働いた経験のある方**です(アルバイトなどの**非正規雇用も含みます**)。日本で働いた経験がない方は、申し訳ありませんが対象外とさせていただきます。
- ・会社名やメールアドレスなど、個人が特定可能な情報を記入する箇所はありません。
- ・性的マイノリティの当事者も、**当事者以外の方も**回答する事が出来ます。
- ・**現在働いていない方**は、直前の職場についてお答えください。
- ・複数の職場を持っている方は、主な職場についてお答えください。
- ・現在の職場が海外の方は、直前の日本での職場についてお答えください。
- ・自由記載欄は2カ所で回答は任意となっております。それ以外の項目は選択式です。
- ・**パソコン端末、スマートフォン、タブレット端末**から回答可能です。
- ・複数の方が**同じ端末から回答する事はできません**。

設問(全30問)

実際の設問は別紙参照

変数、切り口として

【年齢】【性自認】【出生時の性別】【職場での性別】【性的指向】【就業状況】【日系/外資系】【都道府県】【雇用形態】【会社規模】【労働時間】【差別的言動】【アライ】【LGBT施策・実際】【カミングアウト】【業界】【業種】【パートナー関係】【年収】【学歴】

職場環境として

- ・生産性が上がる?【やりがい】【ストレス】
- ・リテンションできる?【勤続意欲】【転職回数】【ダイバーシティ意識】
- ・人材を引きつけられる?【LGBT施策・希望】【求職時の困難】
- ・チーム力が上がる?【人間関係】

調査結果の報告



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

セクシュアリティ分類

	非当事者	当事者									
出生時	設問24で「当事者ではない」を選んだ人で分類しています。 非異性愛者や、トランスジェンダーで「当事者ではない」を選んだ人も含みます。	女性			男性			女性		男性	
性自認		女性			男性			男性	x/他	女性	x/他
		シスジェンダー						トランスジェンダー			
性的指向		女性	両性／性別問わない	その他	男性	両性／性別問わない	その他	(※)			
		レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	FTM	FTX/他	MTF	MTX/他
(100%)											

※今回は字数の都合上、「シスジェンダーレズビアン女性」を「レズビアン女性」etc.と表記します。

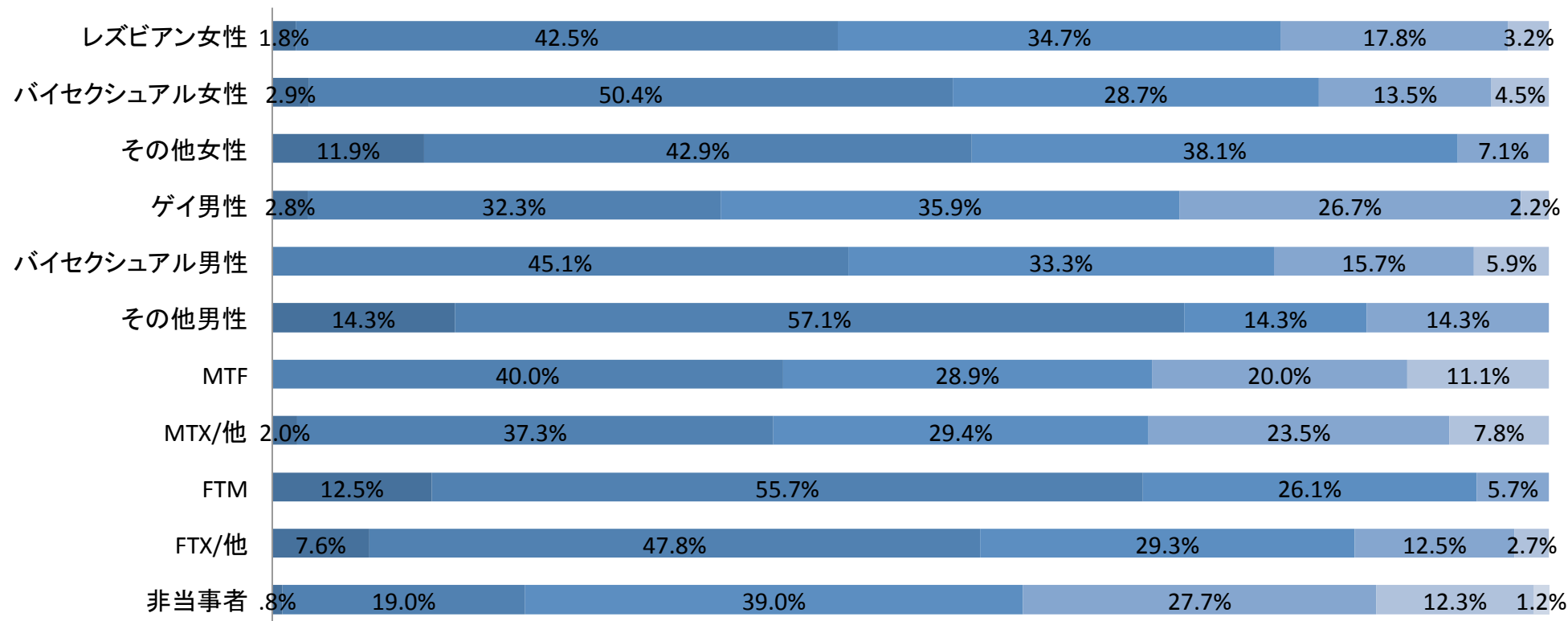
※トランスジェンダーには同性愛者、バイセクシュアルなど様々な性的指向を含んでいます。

※今回は就労についての調査であり、現状の社会においては、性的指向よりも出生時の性別が就労に大きく影響するのではないかという想定で、分析に当たっての分類を行いました。

属性別基礎集計表

1 年 齢

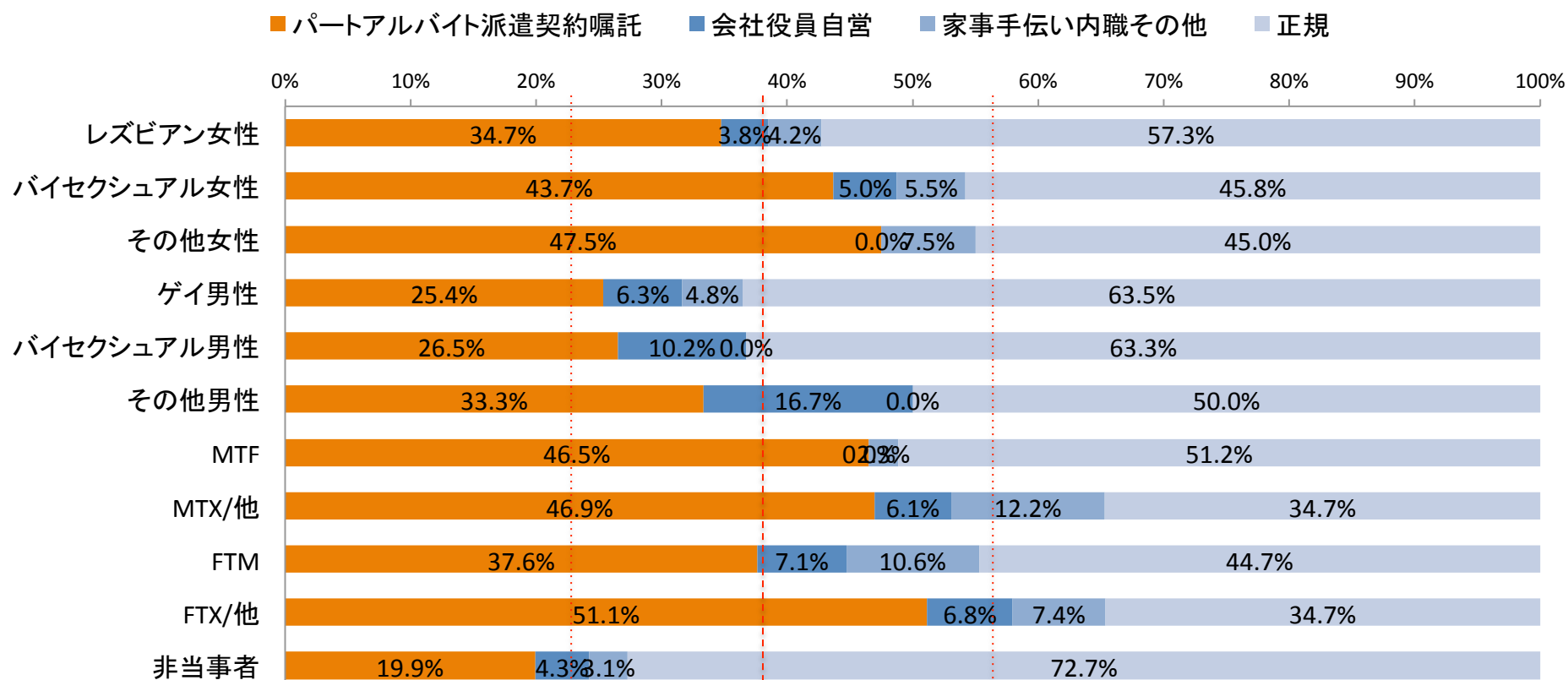
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代



N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
219	244	42	359	51	7	45	51	88	184	495

9 雇用形態



2012年 非正規労働者比率38.2%、男性のみ22.1%、女性のみ57.5%(就業構造基本統計調査)

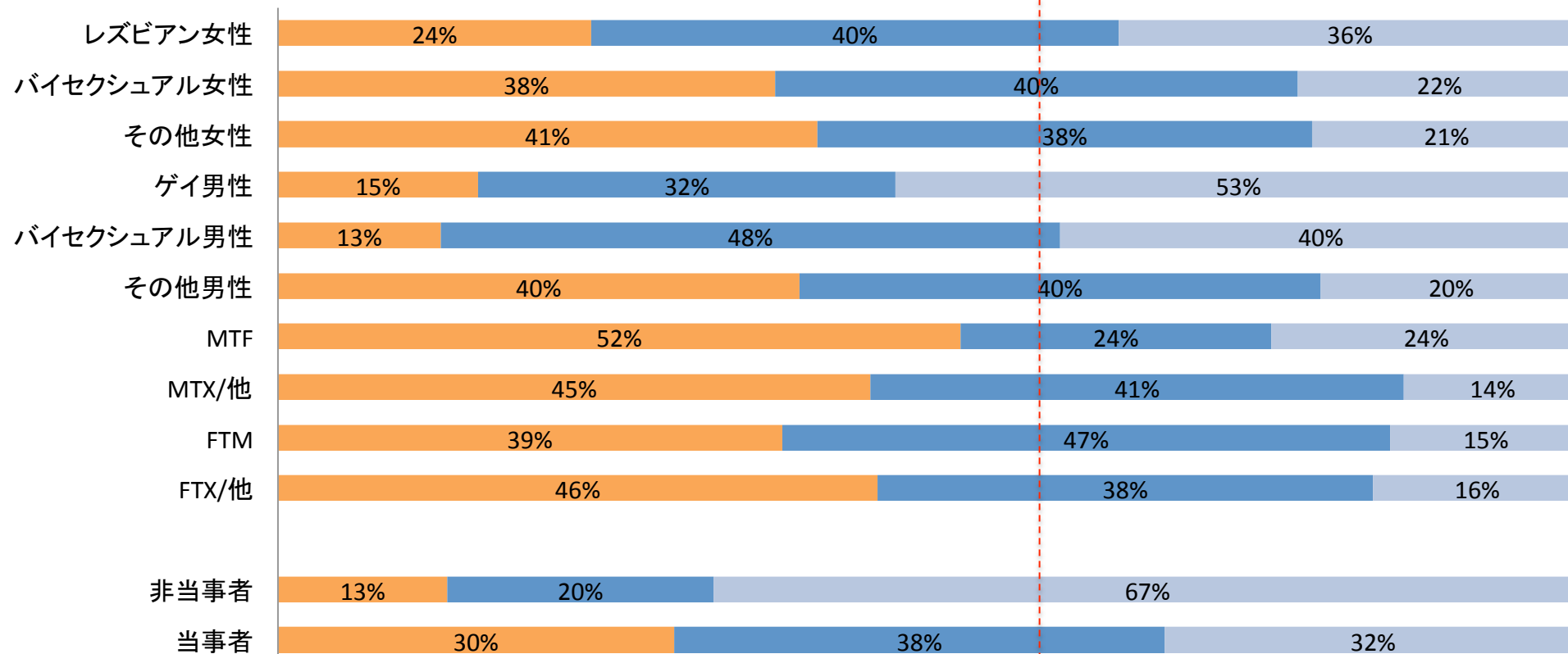
N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
213	238	40	351	49	6	43	49	85	176	487

属性別基礎集計表

28 年収

■ 低0-199万円 ■ 中200-399万円 ■ 高400万円以上



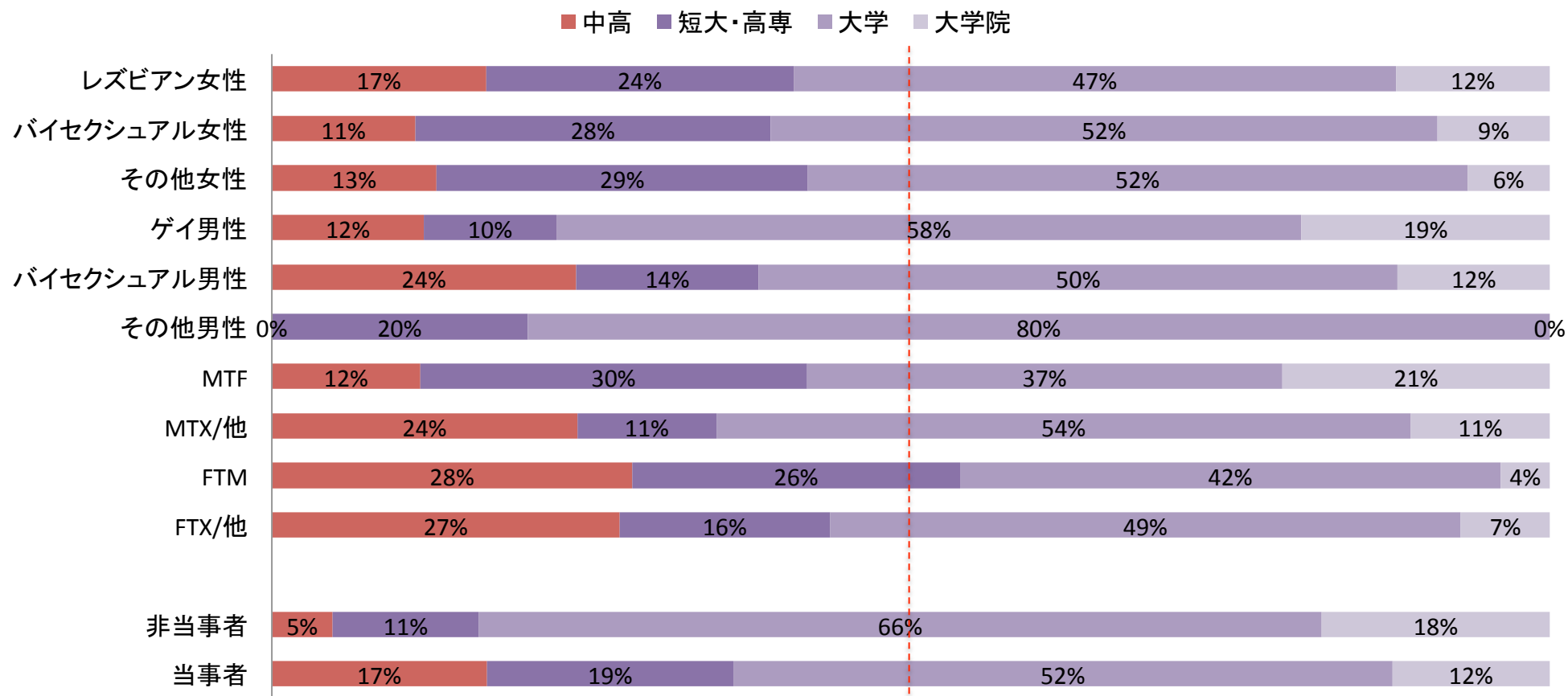
N=

400万円未満の比率 59.0% 2012国税庁(給与所得者の平均年収 408万円)

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計	非当事者
183	202	29	306	40	5	42	44	75	150	1076	392

属性別基礎集計表

29 学歴



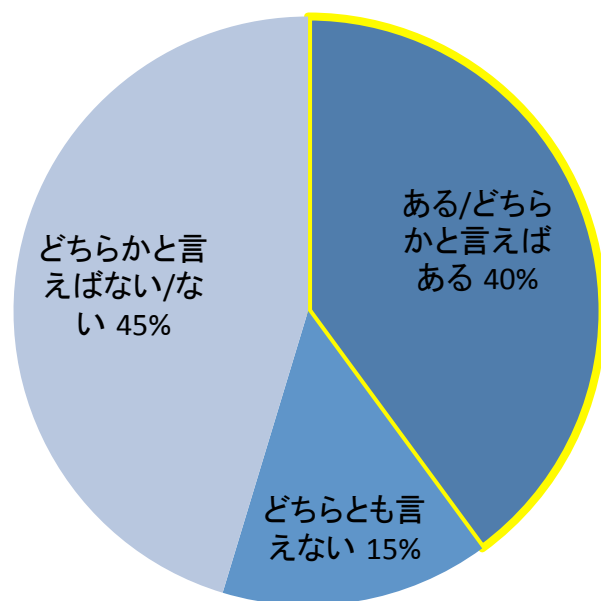
N=

大学進学率 49.9% 2013年 学校基本調査

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者	非当事者
191	205	31	319	42	5	43	46	78	158	1118	420

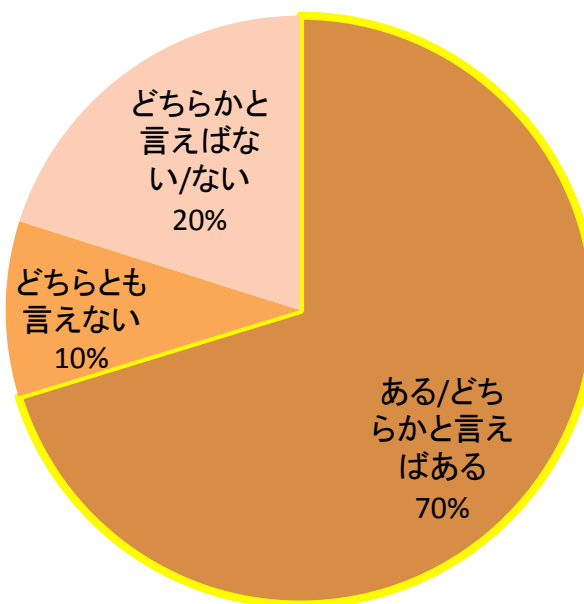
14 求職時の困難

LGBその他



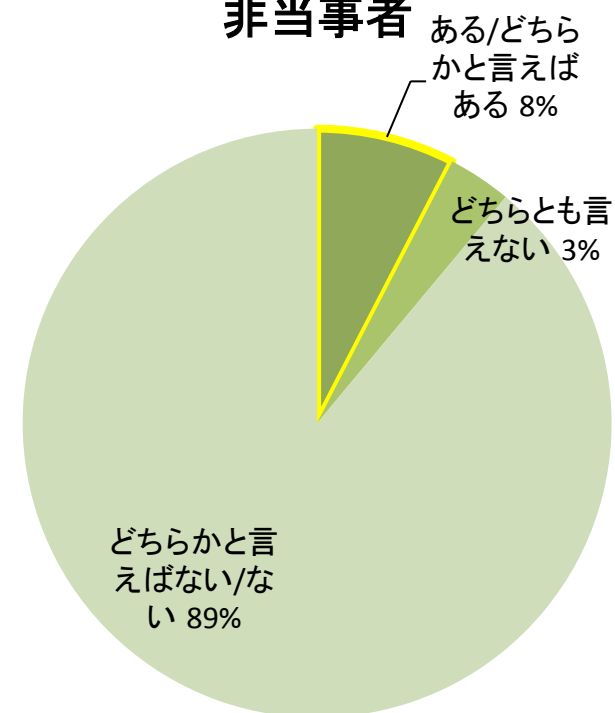
N=854

トランスジェンダー



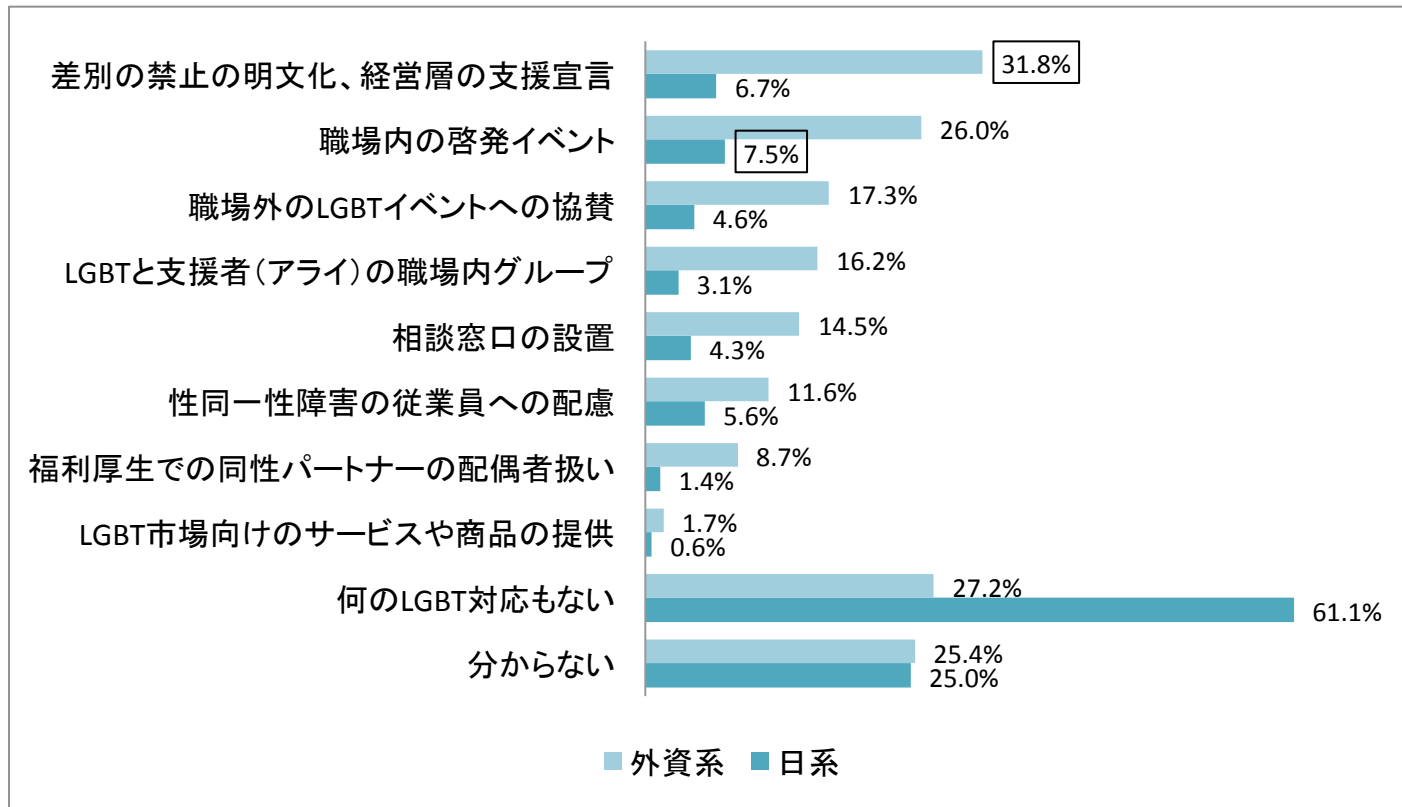
N=343

非当事者



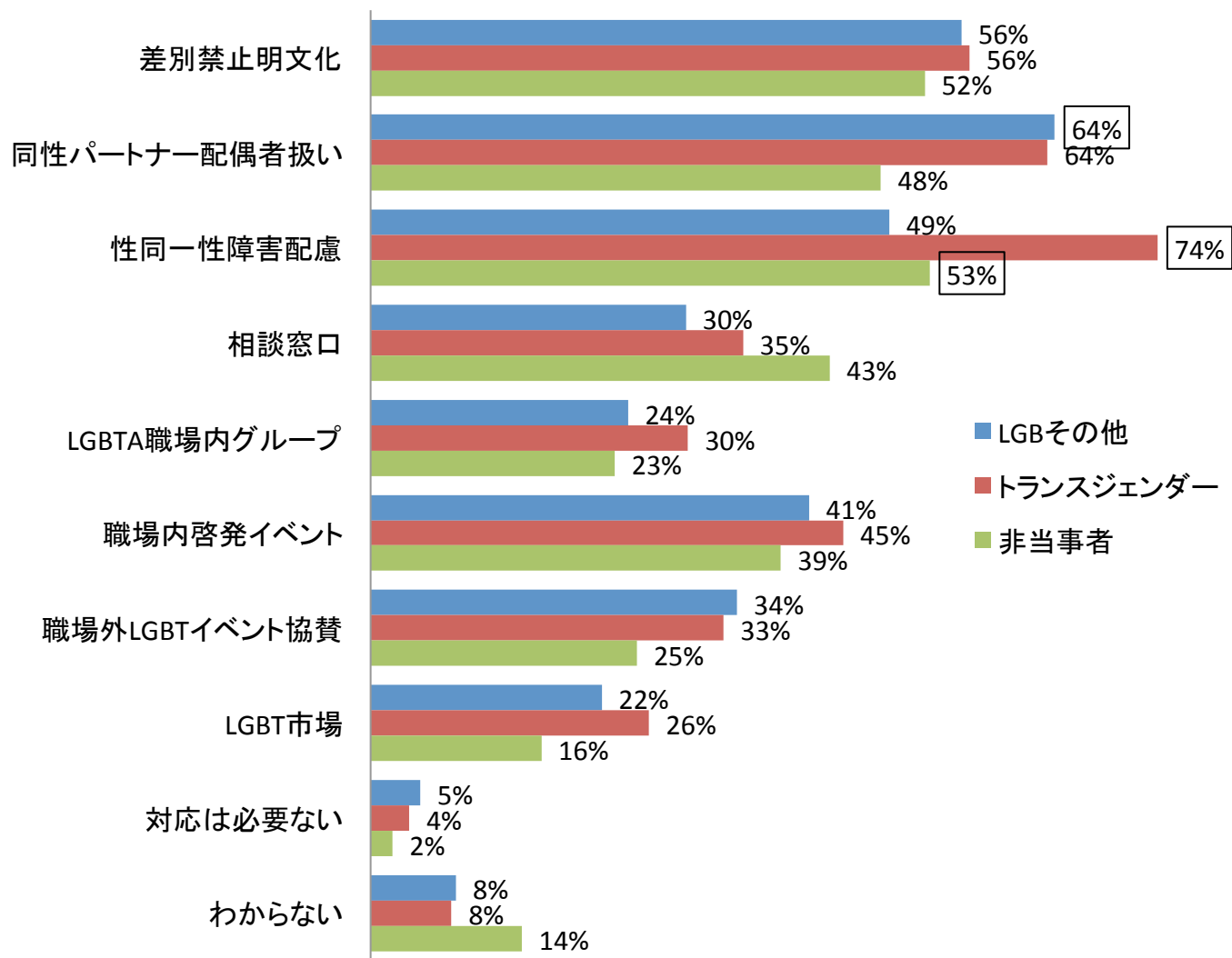
N=461

外資系/日系×LGBT施策



- ✓ 外資系企業では差別の禁止の明文化、経営層の支援宣言が一番多い (31.8%)
 日系企業では、職場内の啓発イベント(勉強会など)が一番多い(7.5%)
- ! 外資系企業は海外の差別禁止規定がそのまま適用されているのでは？
 東洋経済CSR調査では、施策を実施している企業は80社(13%)→回答者に偏り？

23 LGBT施策・希望



24 カミングアウト

	レズビアン 女性	バイセク シュアル女 性	その他女 性	ゲイ男性	バイセク シュアル男 性	その他男 性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計
誰にもして いない	2%	10%	48%	0%	12%	40%	0%	0%	1%	2%	5%
友達にして いる	94%	83%	41%	93%	85%	60%	93%	91%	95%	94%	90%
家族	57%	36%	10%	49%	39%	0%	81%	67%	81%	50%	51%
職場	43%	28%	7%	40%	33%	20%	69%	49%	56%	30%	39%
その他でし ている	10%	16%	21%	17%	15%	20%	38%	37%	21%	20%	18%

N=

レズビアン女 性	バイセクシュア ル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュア ル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計
186	184	29	291	33	5	42	43	78	141	1032

相関関係分析図(非当事者含む)

② ③ ④

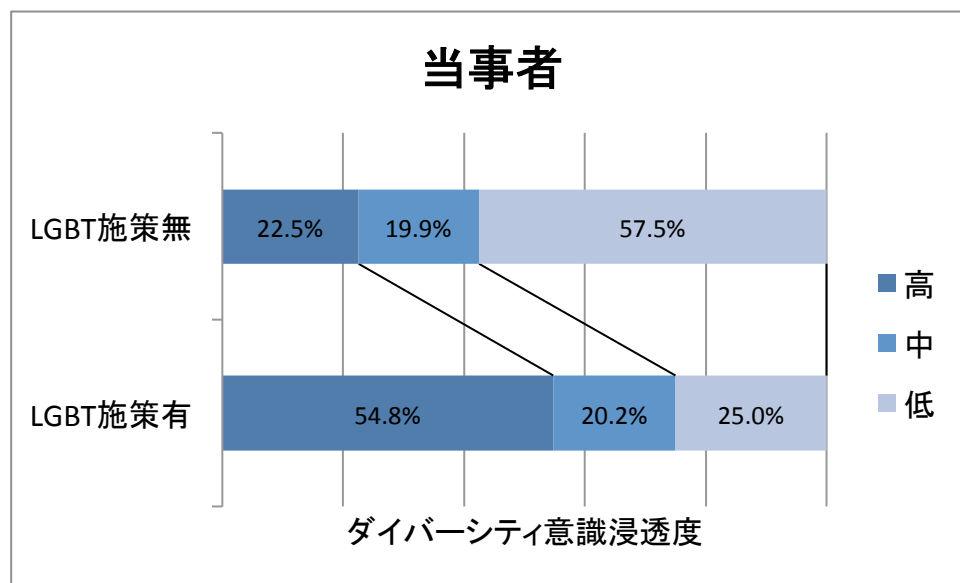
	勤続意欲	やりがい	人間関係	差別的言動	ダイバーシティ意識
勤続意欲	—	.593**	.510**	-.213**	.383**
やりがい	.593**	—	.479**	-.123**	.265**
人間関係	.510**	.479**	—	-.191**	.313**
差別的言動	-.213**	-.123**	-.191**	—	-.282**
ダイバーシティ意識	.383**	.265**	.313**	-.282**	—

*p<0.05;**p<0.01

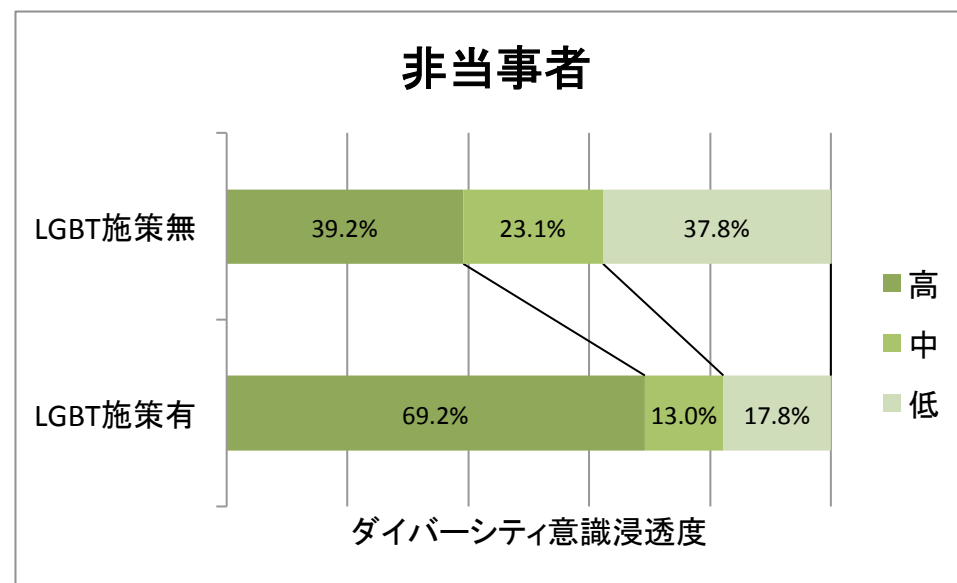
☑ 勤続意欲、やりがい、人間関係、差別的言動、ダイバーシティ意識は相関関係にある

①

LGBT施策×ダイバーシティ意識



N=1,221人



N=455人



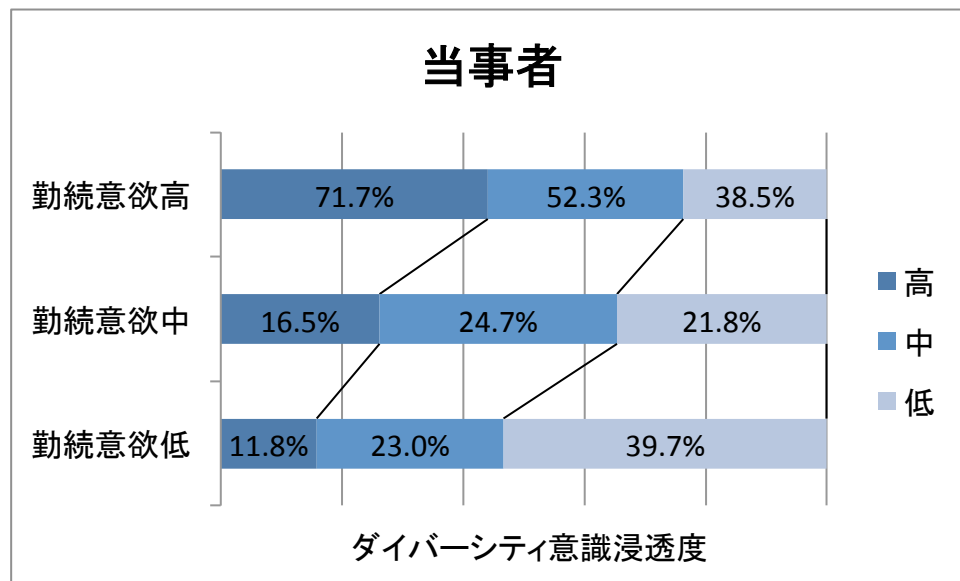
LGBT施策とダイバーシティ意識に関連がある



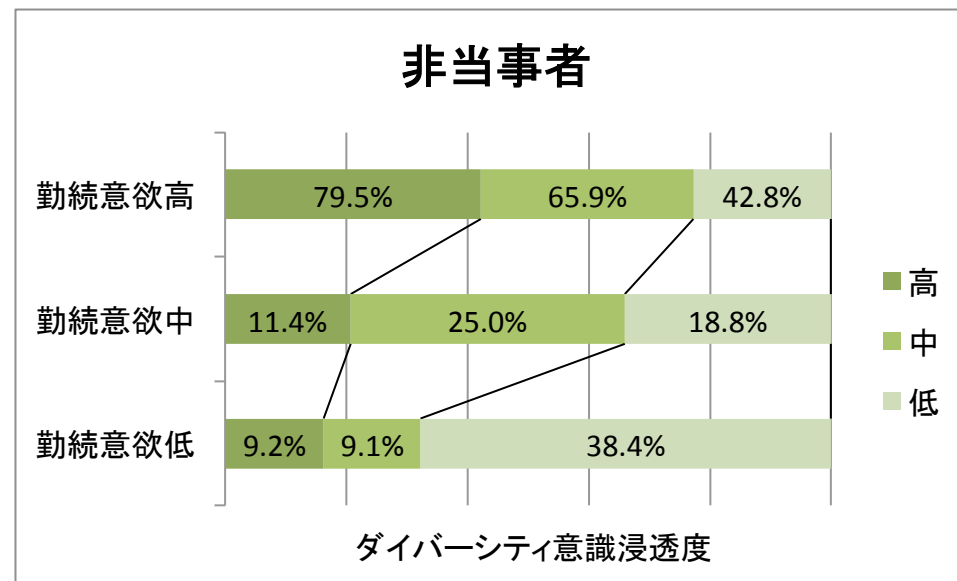
LGBT施策に取り組むと、ダイバーシティへの理解や取組みが浸透していると感じられる



ダイバーシティ意識×勤続意欲



N=1,197人



N=455人



ダイバーシティ意識と勤続意欲に関連がある

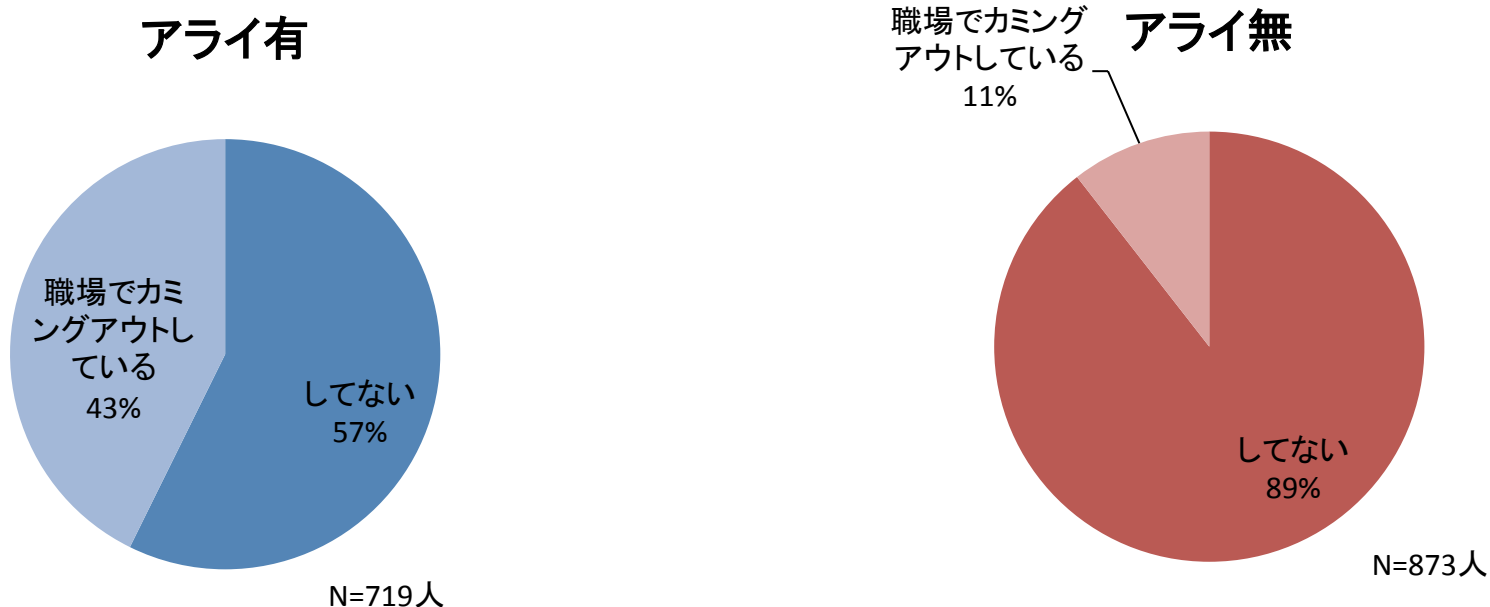


ダイバーシティ意識が高いと感じる職場ほど、そこで働き続けたい人が増える



⑦

アライの有無×カミングアウト



当事者にとって、アライ(LGBTの理解者、支援者)の有無とカミングアウトには関連がある

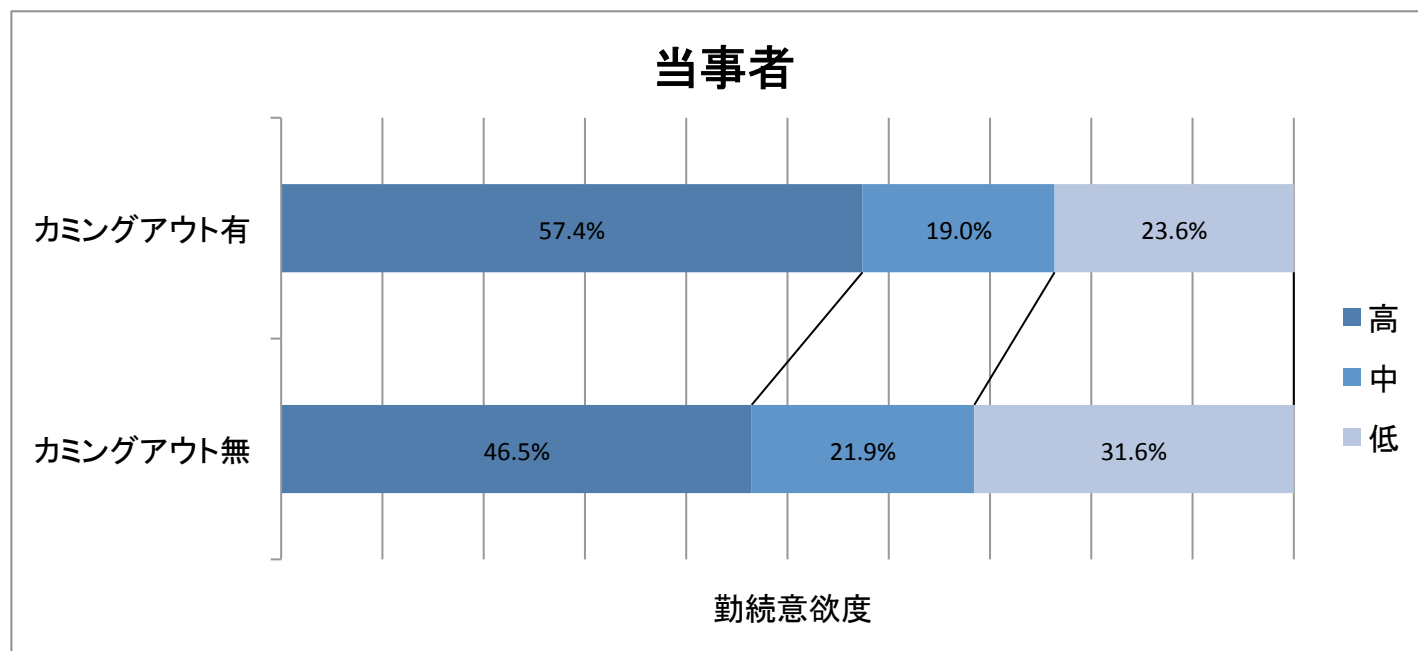


アライがいる方が職場でカミングアウトしやすい もしくは
カミングアウトをするとアライになってくれる人がいる



⑧

カミングアウト×勤続意欲



N=1,197人



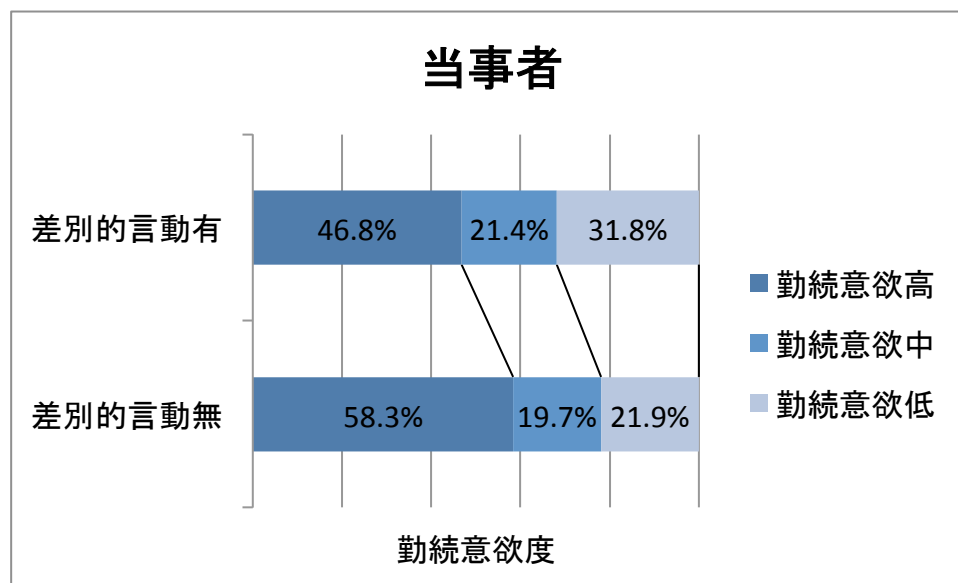
職場で誰かにカミングアウトしていることと当事者の勤続意欲に関連がある



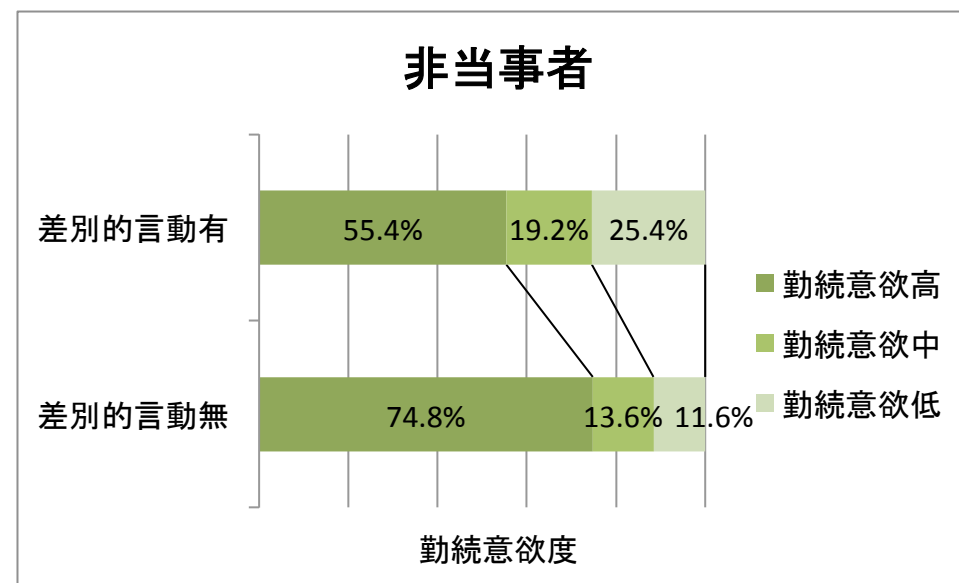
この職場で働き続けたいと思うと、カミングアウトする あるいは、
カミングアウトしてそれが受け入れられると、この職場で働き続けたいと思う



差別的言動×勤続意欲



N=1,174人



N=455人



LGBTに関する差別的言動と勤続意欲に関連がある



非当事者も含め、差別的言動がない職場の方が、勤続意欲が高くなる
(差別的言動は、当事者でなくとも、不快なものなのでは?)

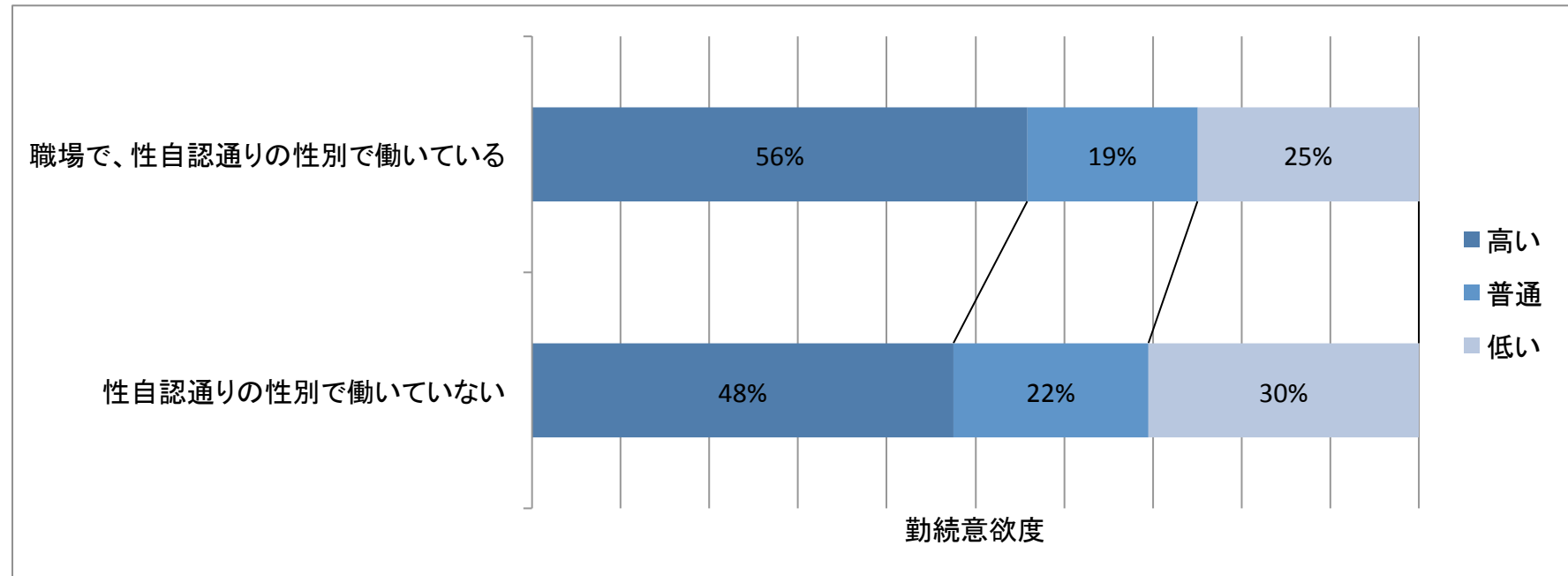


20 差別的言動の事例

分類	差別的言動	年代	セクシュアリティ
ストーカー	カミングアウトしたら、職場の人がストーカーになった。仕方なく退職したが、退職後も電話があり、怖くて番号を変更した。	30代	レズビアン
差別的言動	性同一性障害だと職場でバレたら、「ズボンをおろすぞ」など、からかわれた。「解雇するか迷ったが、そのまま雇ってあげてるのだから、人一倍頑張る」と言われた。	30代	MTF
就職差別	(MTFトランスジェンダーだと)カミングアウトして就職活動をしたら、すべての会社を落ちた。同じ会社の違う店舗で、カミングアウトせずに受けたら、すぐに合格した。	30代	MTF
解雇	就業時間中には「男だったら頑張れ」、歓送迎会では「男なのに女みたいな甘い酒を飲むのか」などという発言がある職場。毎日のように「もっと女らしくしなさい」と上司や先輩に言われた。「そんなのはおかしい」と反論したら、解雇されてしまった。次に働くところも同じような状況だったらと思うと、仕事を探す気になれない。	20代	FTX
いじめ	性同一性障害者だとカミングアウトしたら、机やロッカーに虫の死骸を置かれたり、椅子に画鋏を置かれたりという、程度の低いいじめがあった。	10代	FTM

※回答者のプライバシー保護のため、原文を虹色ダイバーシティで要約・加工しています(大意は変えていません)

職場での性別×勤続意欲



N=1,652人



職場で性自認と同じ性別で働いている人の方が、そうでない人に比べて、勤続意欲が高い傾向にある

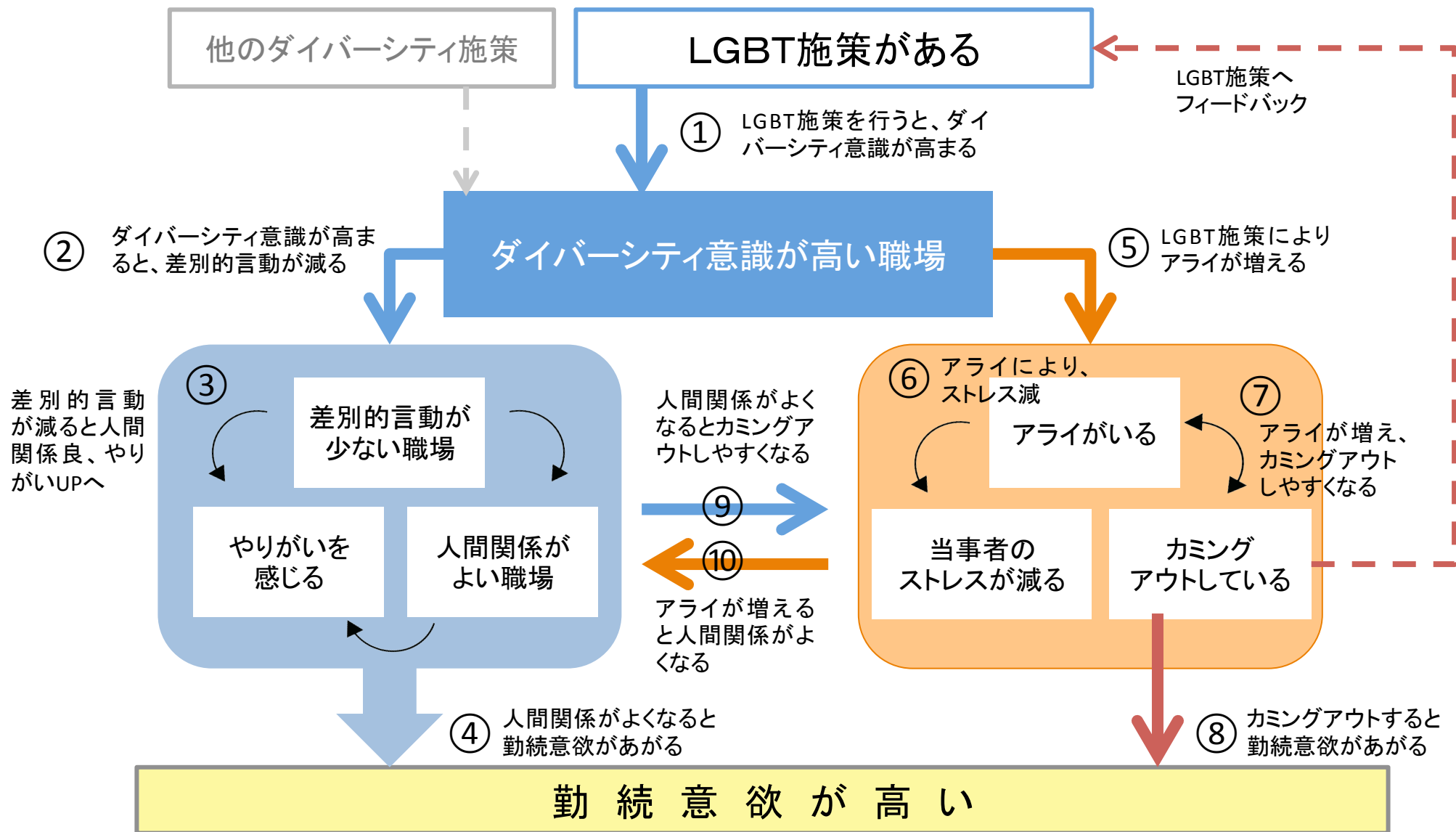


望む性別で働くことを受け入れられる職場では、長く働き続けたいと思う



虹色ダイバーシティ による構造化(仮説)

※ 全体の構造、矢印の向き、文章での記載内容、破線の矢印は、
すべて現時点のデータ分析結果に基づく、虹色ダイバーシティによる考察(仮説)です。



虹色ダイバーシティによる構造化(仮説)の注意点

- ✓ 今回の調査では、職場全体の話と個人の話があります。「ダイバーシティ意識が高まる」や「差別的言動が少なくなる」と言った表現は、「職場全体」に対して言えることであり、個人レベルの話ではなく、職場全体の話ですのでご注意ください。
- ✓ 矢印の向きは虹色ダイバーシティの考察です。データからいえることは、双方に「関連」がある、ということにとどまります。
- ✓ 「関連」があるというのは、CGSIによる関連性の分析の結果、統計的に有意な関連があることです。

まとめ



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

KEY FINDINGS

- 1) 職場の中でのLGBTに対する差別的言動は、当事者の働きやすさを阻害しているだけでなく、当事者以外にも影響が及び、勤続意欲にマイナスの影響がある
- 2) トランスジェンダーが望む性で働けていないことは、勤続意欲に影響があり、貧困の問題にもつながっていると思われる
- 3) 就職や転職に困難を感じる当事者は、非当事者と比べて多い傾向があり、特にトランスジェンダーに多い
- 4) LGBT施策がある職場は、勤続意欲が高い傾向にある
- 5) ダイバーシティ意識が浸透している職場は、当事者/非当事者ともに、人間関係がよい傾向にある



振り返り

- 1) アンケート参加者が増加。注目度が上がっている
- 2) CGSに設問を考える段階から協力して頂き、分析しやすい設問に
- 3) CGSに分析を依頼し、統計ソフトを用いたより高度な計量分析が可能に
- 4) 設問を30問に増やしたことで、切り口が増えて、分析工数がかなり増



今後の課題

- 1) 回答者に偏り→無作為抽出の調査でも同じ結果になるか、今後検証が必要
- 2) セクシュアリティによって参加者の数にばらつき→広報に工夫が必要
- 3) LGBT施策の効果に関しては、企業内での検証も必要(社内意識調査など)
- 4) CGSにて今後、多変量解析、自由記載欄のテキストの解析を行う予定
- 5) メディア等でのデータの一人歩きに注意する必要あり
- 6) ロールモデルの有無、ライフイベント(育児、介護など)ごとの課題、キャリアプランに関する問題は、今回の調査では分からない



Thank you ;)

- ❖ 回答者の皆さま、アンケート調査への回答、広報へのご協力、ありがとうございました。是非継続的に声を聞かせて頂きたく、お願いいたします。
- ❖ 企業、行政の皆さま、貴重なご意見をありがとうございました。是非このデータを、働きやすい職場づくりをより一層推進する材料にして頂きたいと思えます。
- ❖ メディア関係の皆さま、是非この 이슈について、社会的な関心の喚起にご協力下さい。
- ❖ 虹色ダイバーシティの活動に、ご支援をお願いいたします。



～ 添付資料 ～



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

属性別基礎集計表



NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

セクシュアリティ分類

	非当事者		当事者									
出生時	女性	男性	女性			男性			女性		男性	
性自認	女性	男性	女性			男性			男性	x/他	女性	x/他
	シスジェンダー								トランスジェンダー			
性的指向	男性	女性	女性	両性／性別問わない	その他	男性	両性／性別問わない	その他	(※)			
	ヘテロセクシュアル女性	ヘテロセクシュアル男性	レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	FTM	FTX/他	MTF	MTX/他
(100%)												

※今回は字数の都合上、「シスジェンダーレズビアン女性」を「レズビアン女性」etc.と表記します。

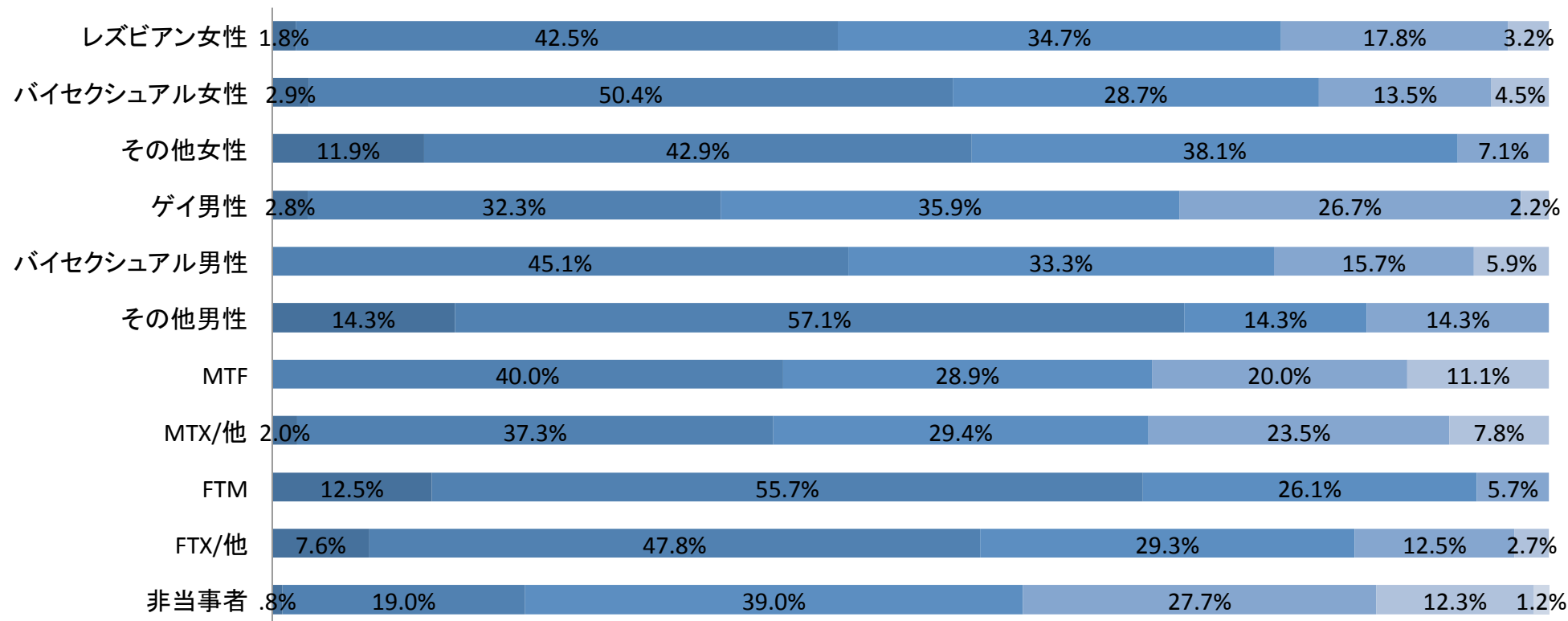
※トランスジェンダーには同性愛者、バイセクシュアルなど様々な性的指向を含んでいます。

※今回は就労についての調査であり、現状の社会においては、性的指向よりも出生時の性別が就労に大きく影響するのではないかという想定で、分析に当たっての分類を行いました。

属性別基礎集計表

1 年 齢

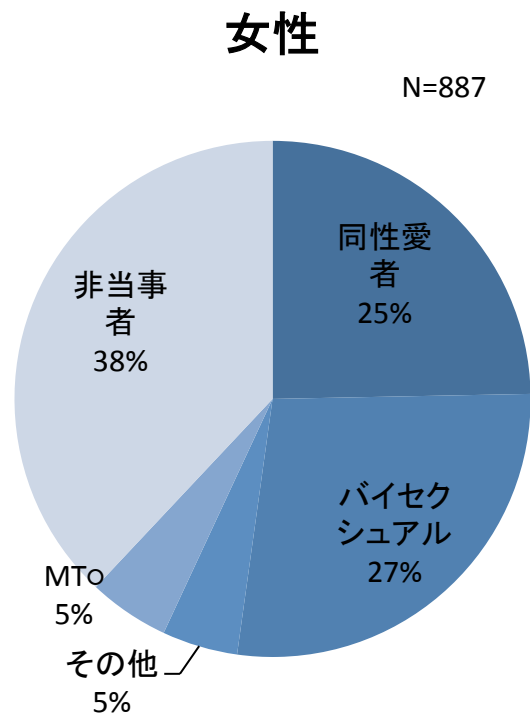
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代



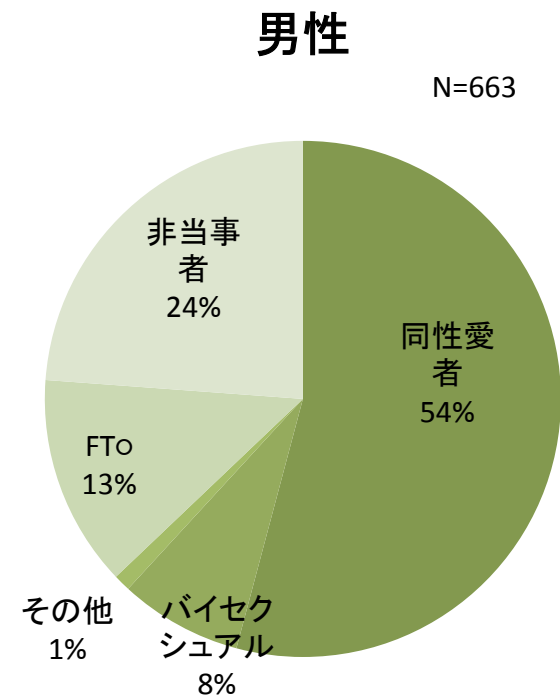
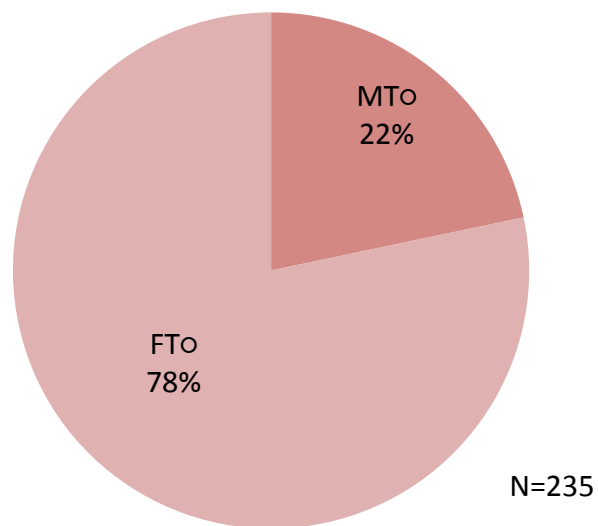
N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
219	244	42	359	51	7	45	51	88	184	495

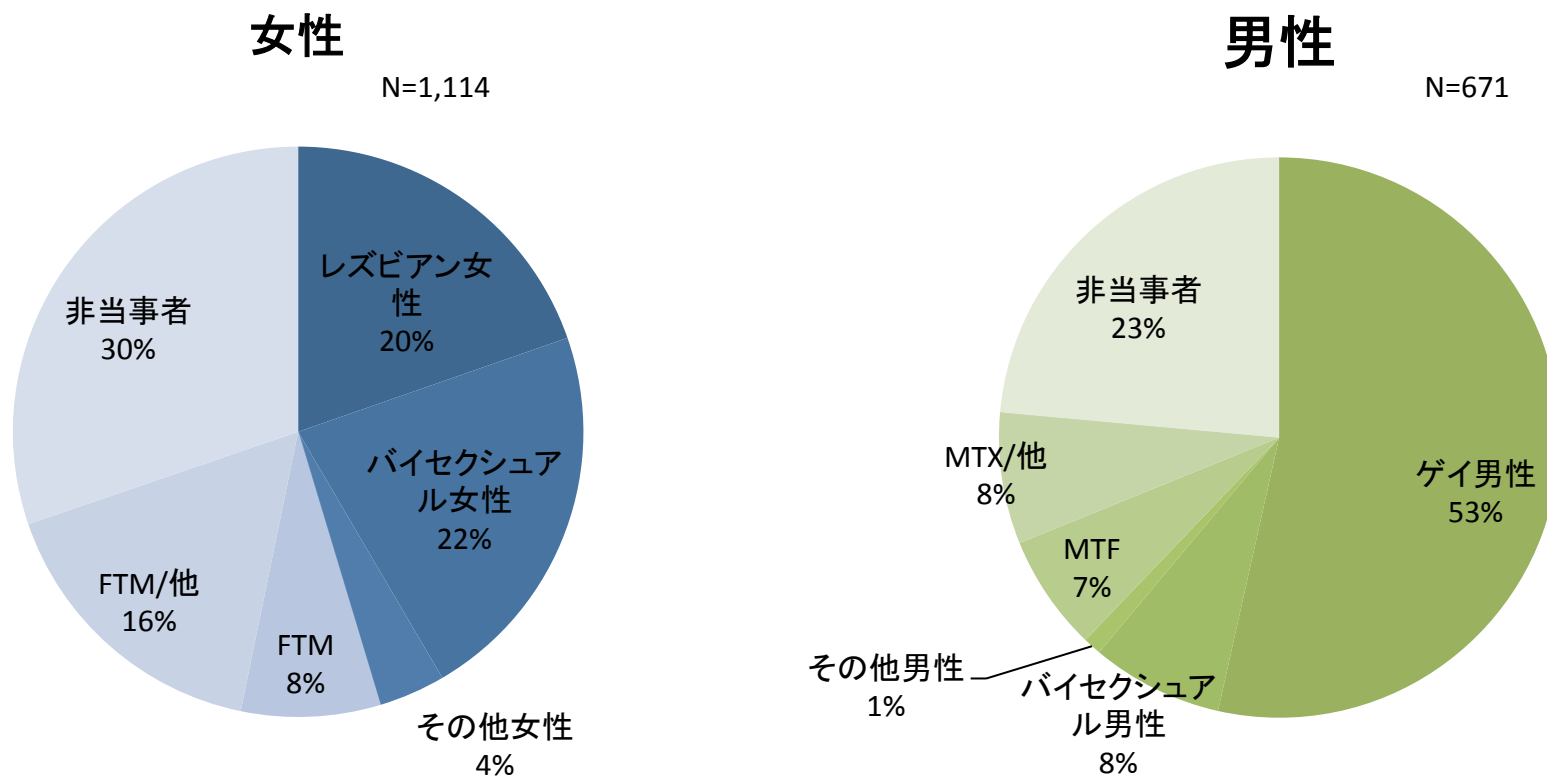
2 性自認



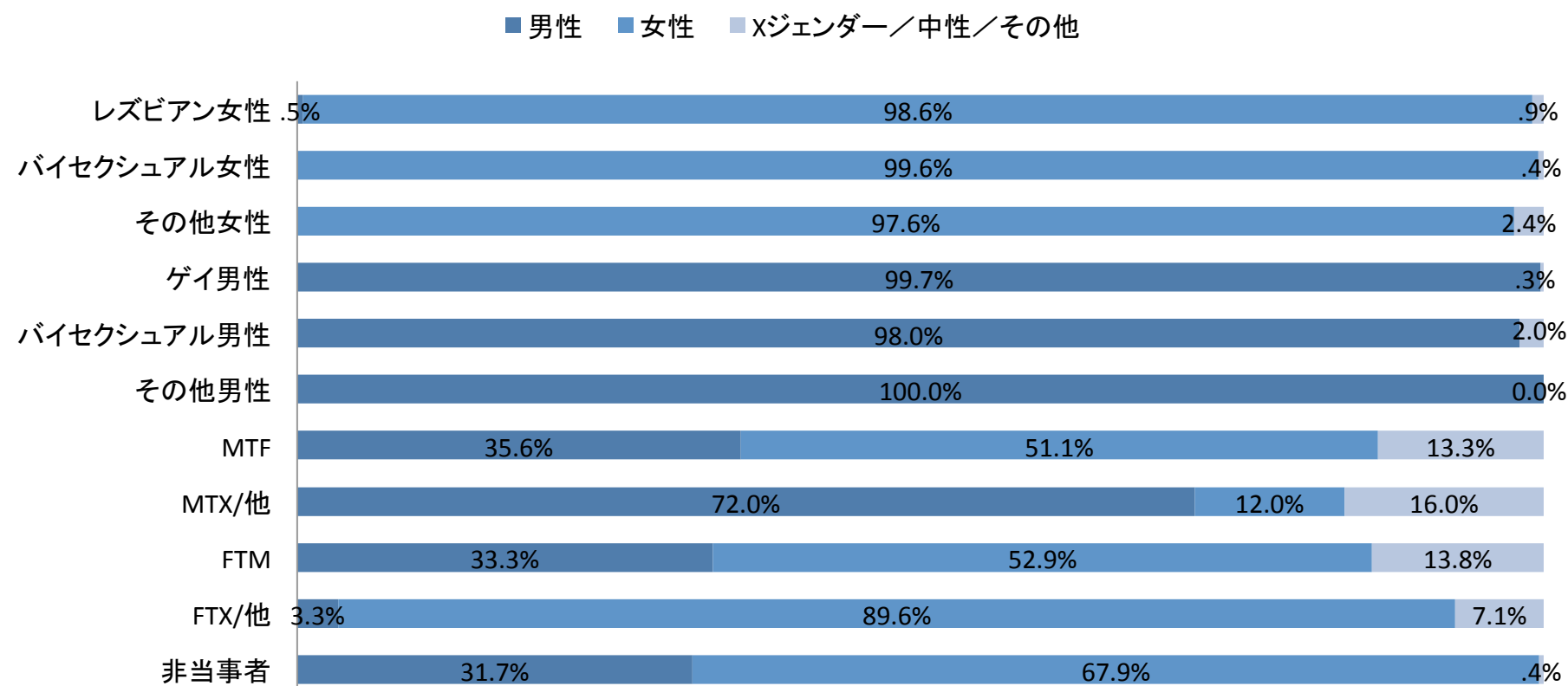
Xジェンダー・中性その他



3 出生時の性別



4 職場での性別



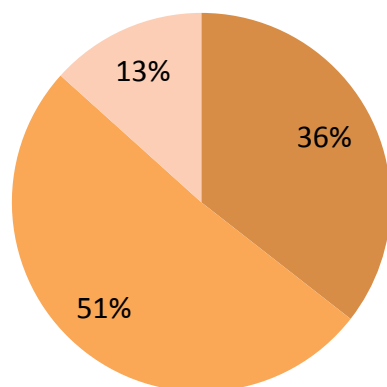
N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
219	244	42	359	51	7	45	50	87	183	495

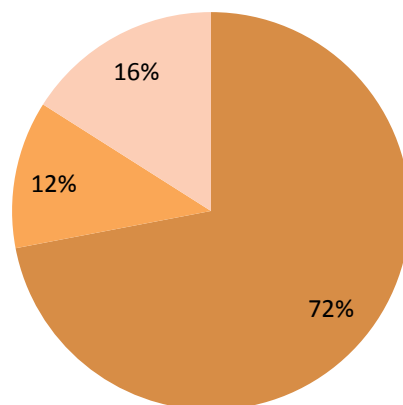
4 職場での性別

MTF

■ 男性 ■ 女性 ■ Xジェンダー中性その他

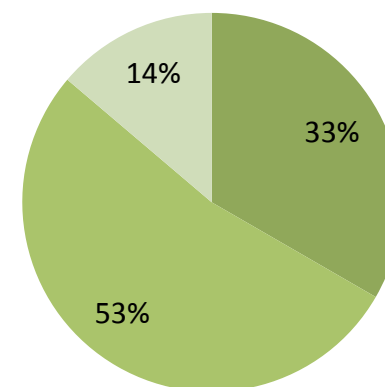


MTX/他

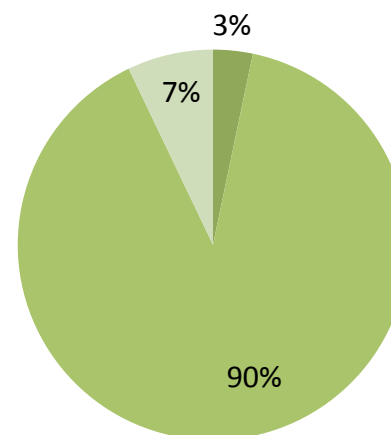


FTM

■ 男性 ■ 女性 ■ Xジェンダー中性その他



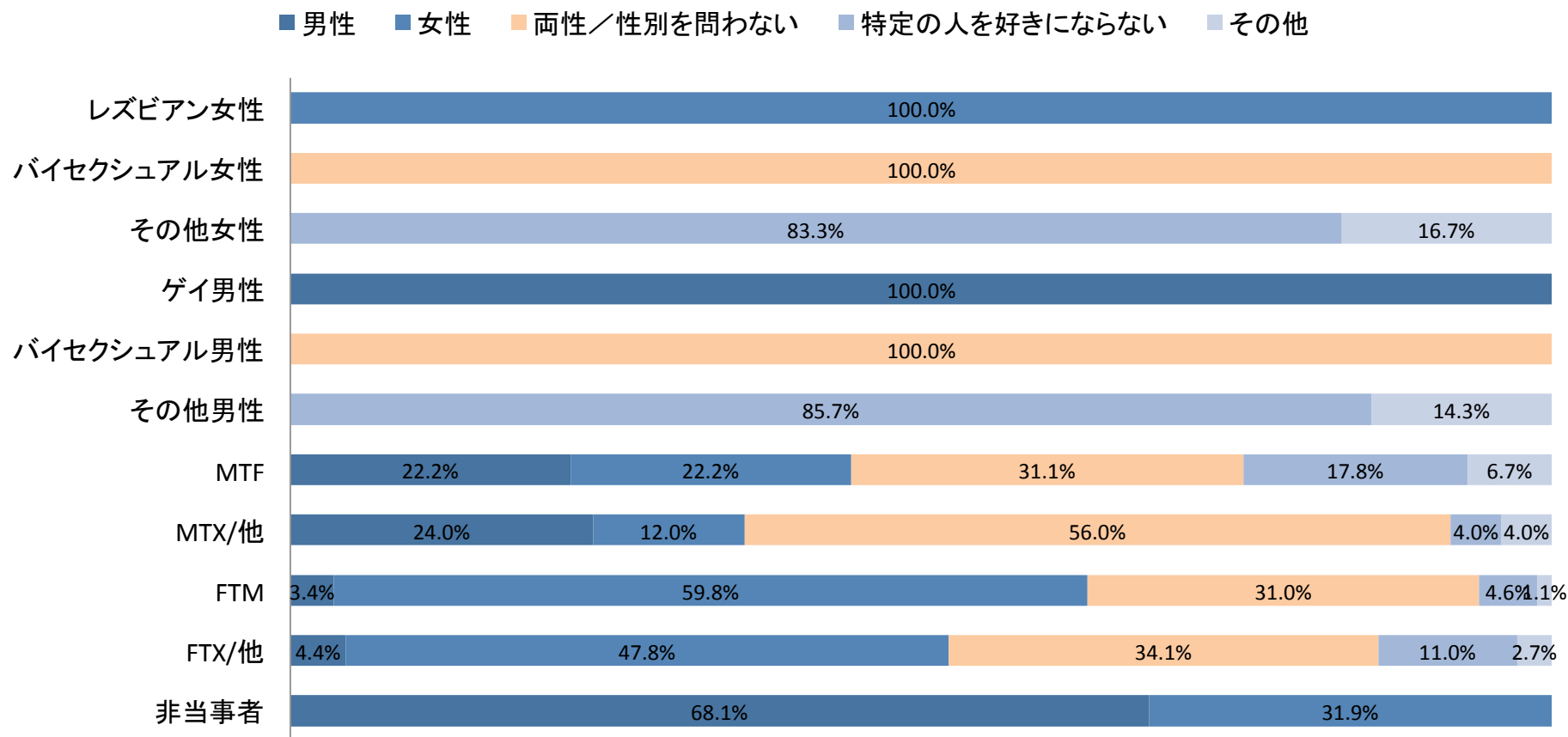
FTX/他



N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
219	244	42	359	51	7	45	50	87	183	495

5 性的指向



N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
219	244	42	359	51	7	45	50	87	182	495

5 性的指向

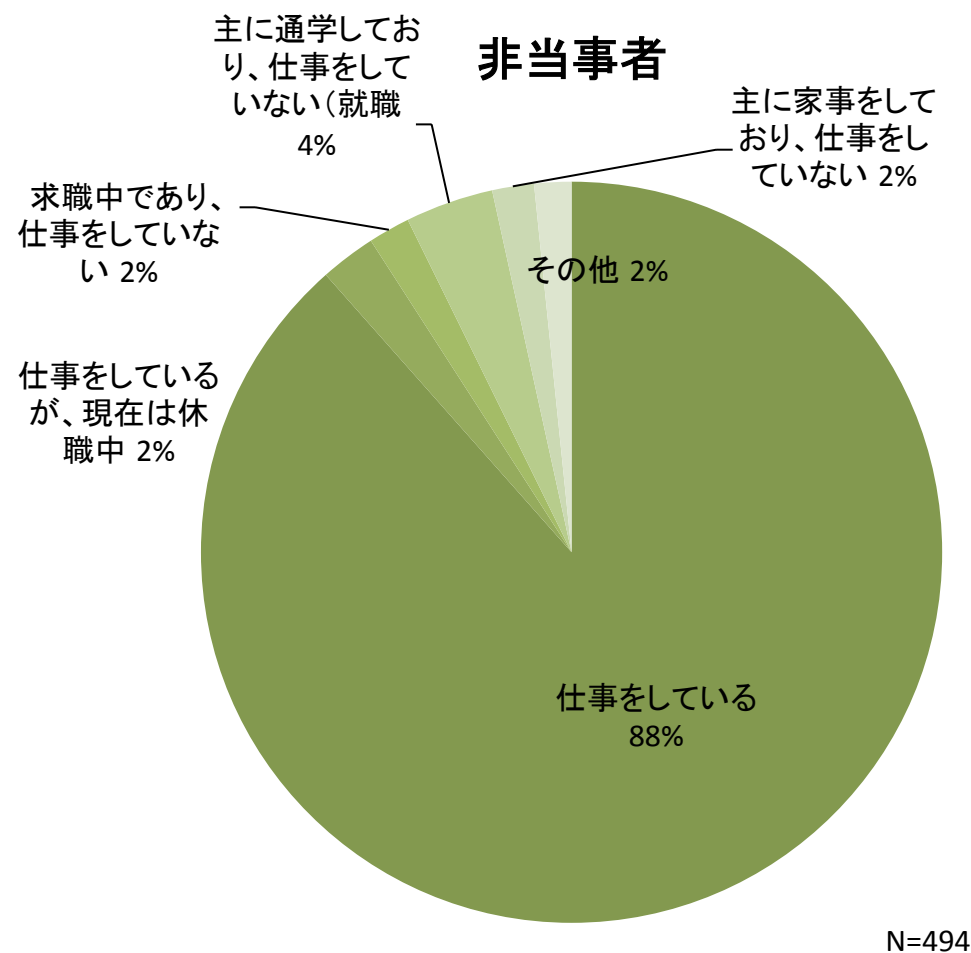
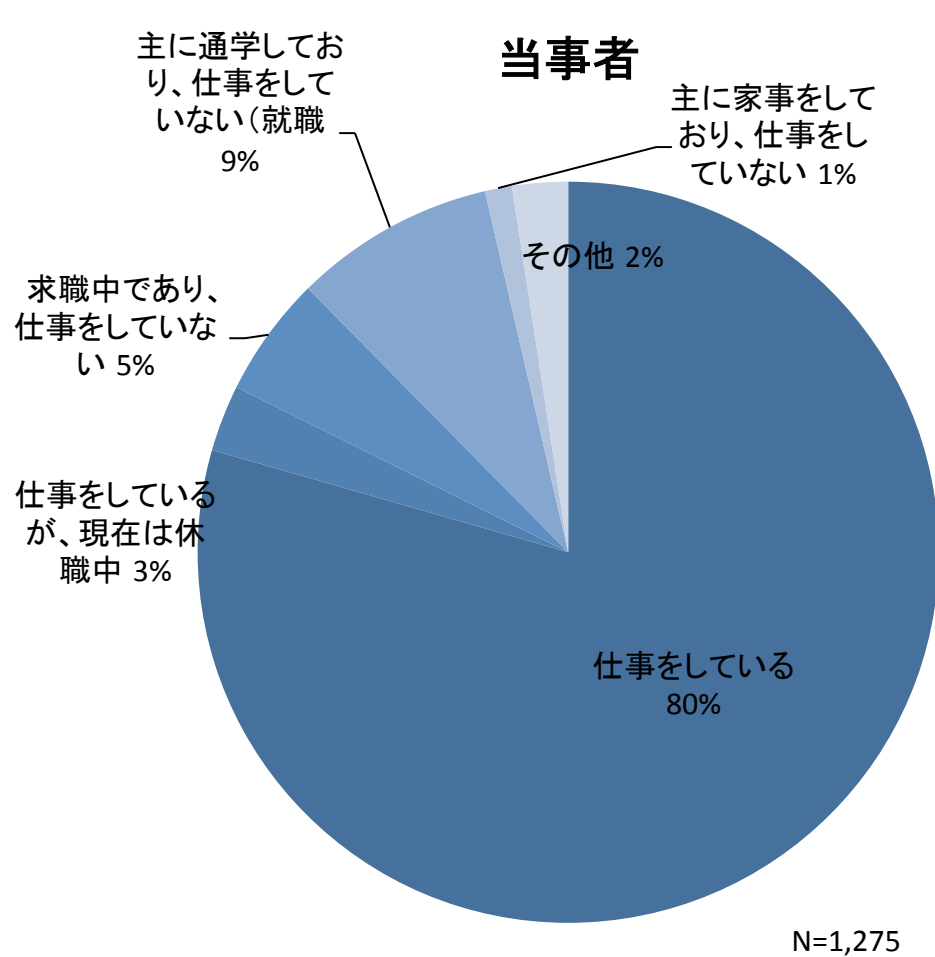
	レズビアン女性	ゲイ男性	バイセクシュアル女性	バイセクシュアル男性	その他女性	その他男性
	219	359	244	51	42	7
合計	シスジェンダー同性愛 578		シスジェンダー両性愛 295		シスジェンダーその他 49	

	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他
	45	50	87	182
小計	出生時男性トランスジェンダー 95		出生時女性トランスジェンダー 269	
合計	トランスジェンダー 364			

非当事者
495

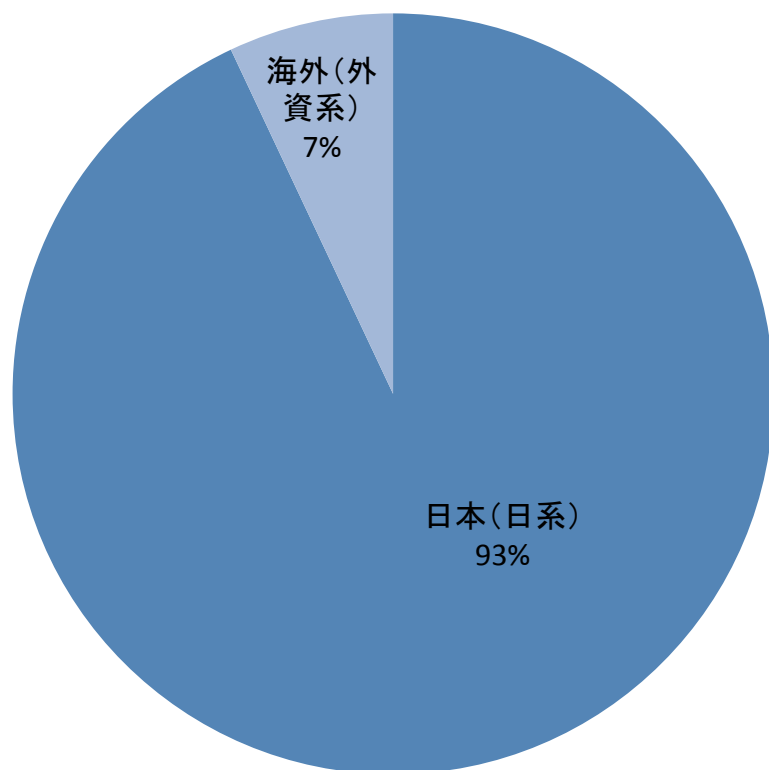
(人)

6 就業状況



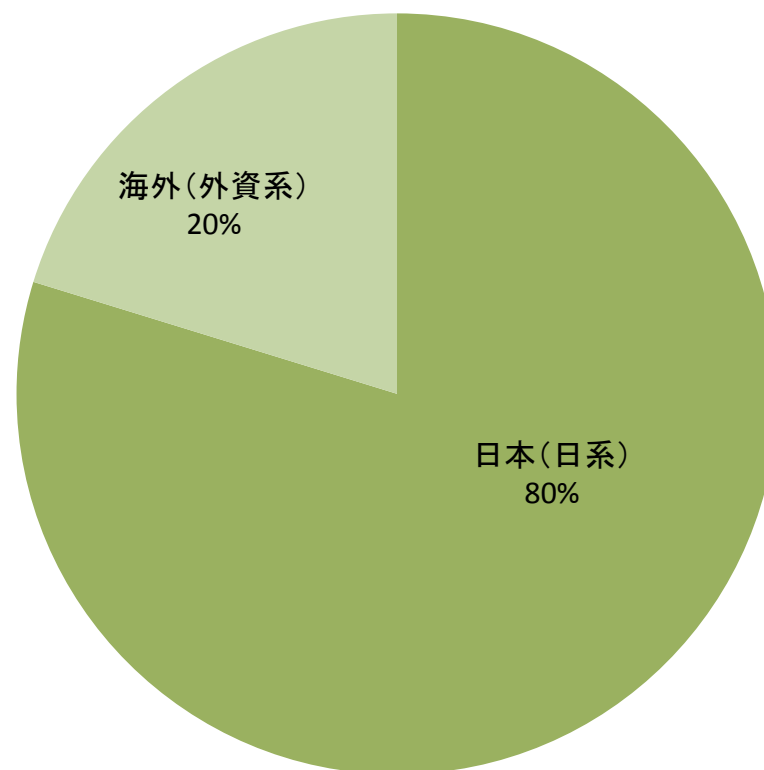
7 日系/外資系

当事者



N=1,270

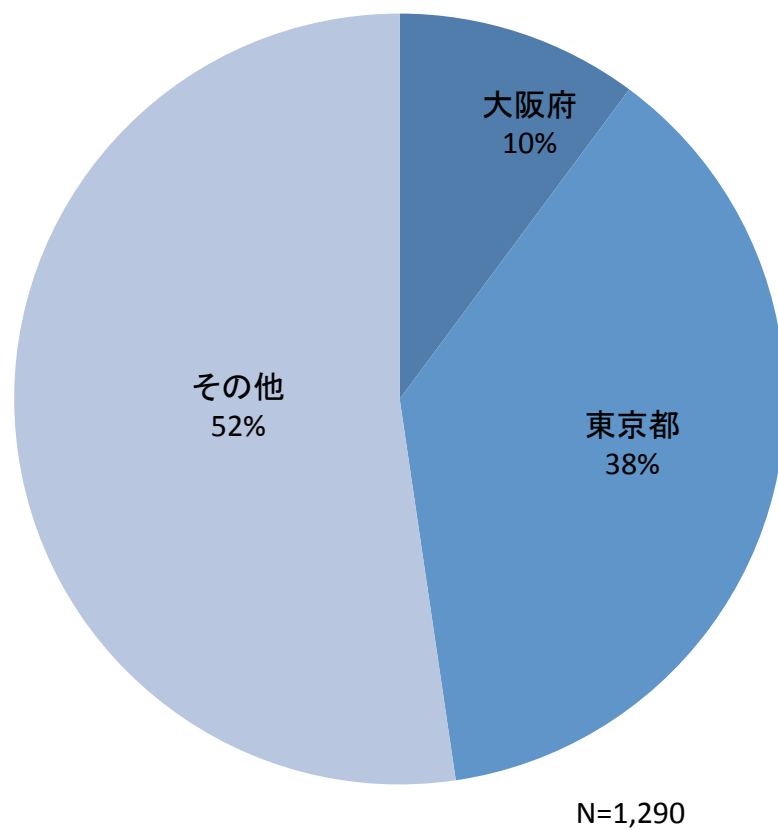
非当事者



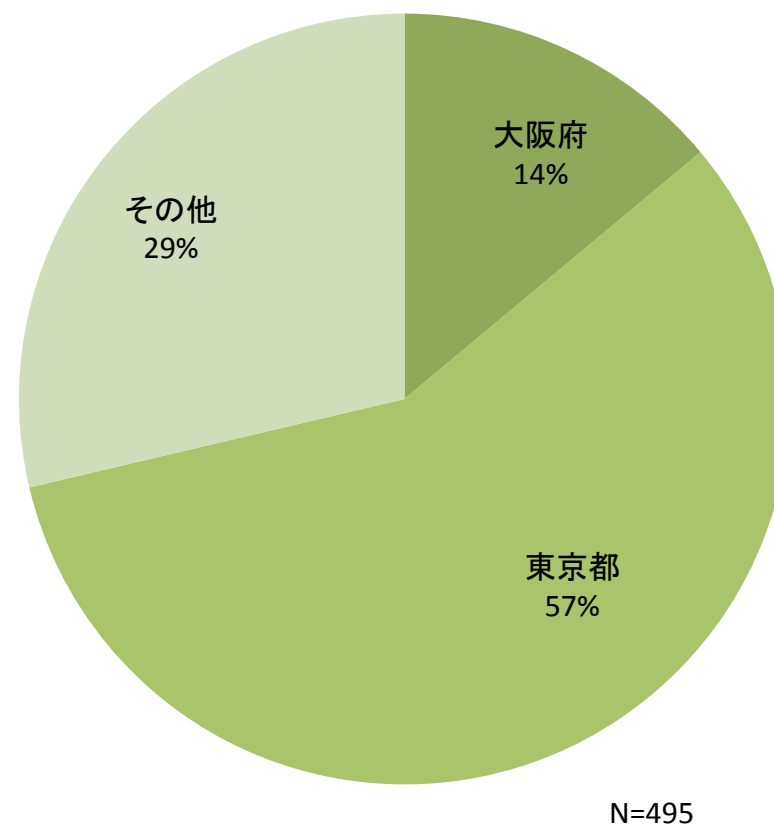
N=489

8 都道府県(勤務地)

当事者



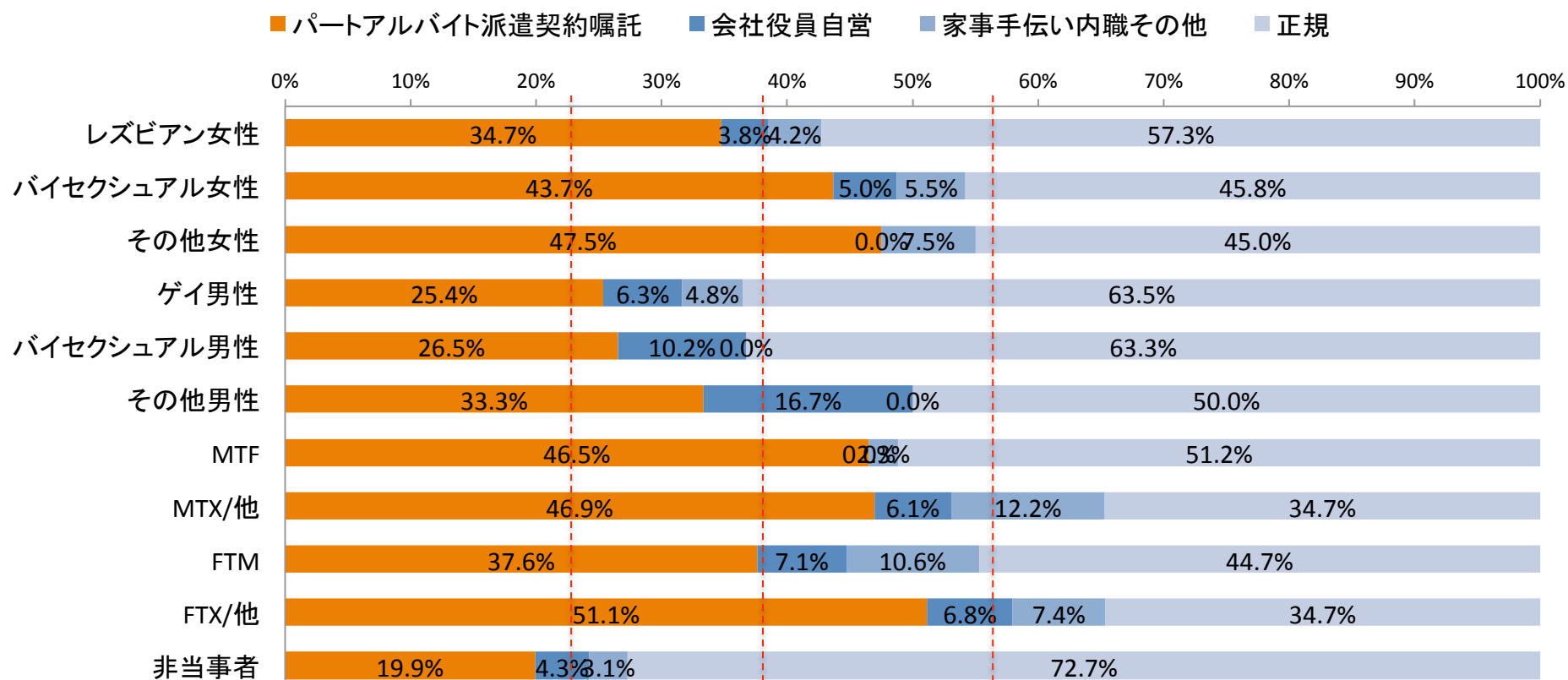
非当事者



8 都道府県(勤務地)

北海道	41	2.3%	京都府	53	2.9%
青森県	11	0.6%	大阪府	200	11.0%
岩手県	8	0.4%	兵庫県	53	2.9%
宮城県	22	1.2%	奈良県	10	0.6%
秋田県	3	0.2%	和歌山県	7	0.4%
山形県	5	0.3%	鳥取県	5	0.3%
福島県	10	0.6%	島根県	5	0.3%
群馬県	6	0.3%	岡山県	10	0.6%
栃木県	9	0.5%	広島県	10	0.6%
茨城県	20	1.1%	山口県	4	0.2%
埼玉県	56	3.1%	徳島県	7	0.4%
千葉県	47	2.6%	香川県	13	0.7%
東京都	768	42.3%	愛媛県	18	1.0%
神奈川県	94	5.2%	高知県	5	0.3%
新潟県	11	0.6%	福岡県	40	2.2%
富山県	5	0.3%	佐賀県	3	0.2%
石川県	7	0.4%	長崎県	10	0.6%
福井県	7	0.4%	熊本県	9	0.5%
山梨県	6	0.3%	大分県	5	0.3%
長野県	9	0.5%	宮崎県	2	0.1%
岐阜県	8	0.4%	鹿児島県	11	0.6%
静岡県	16	0.9%	沖縄県	22	1.2%
愛知県	53	2.9%			
三重県	10	0.6%			
滋賀県	12	0.7%			

9 雇用形態



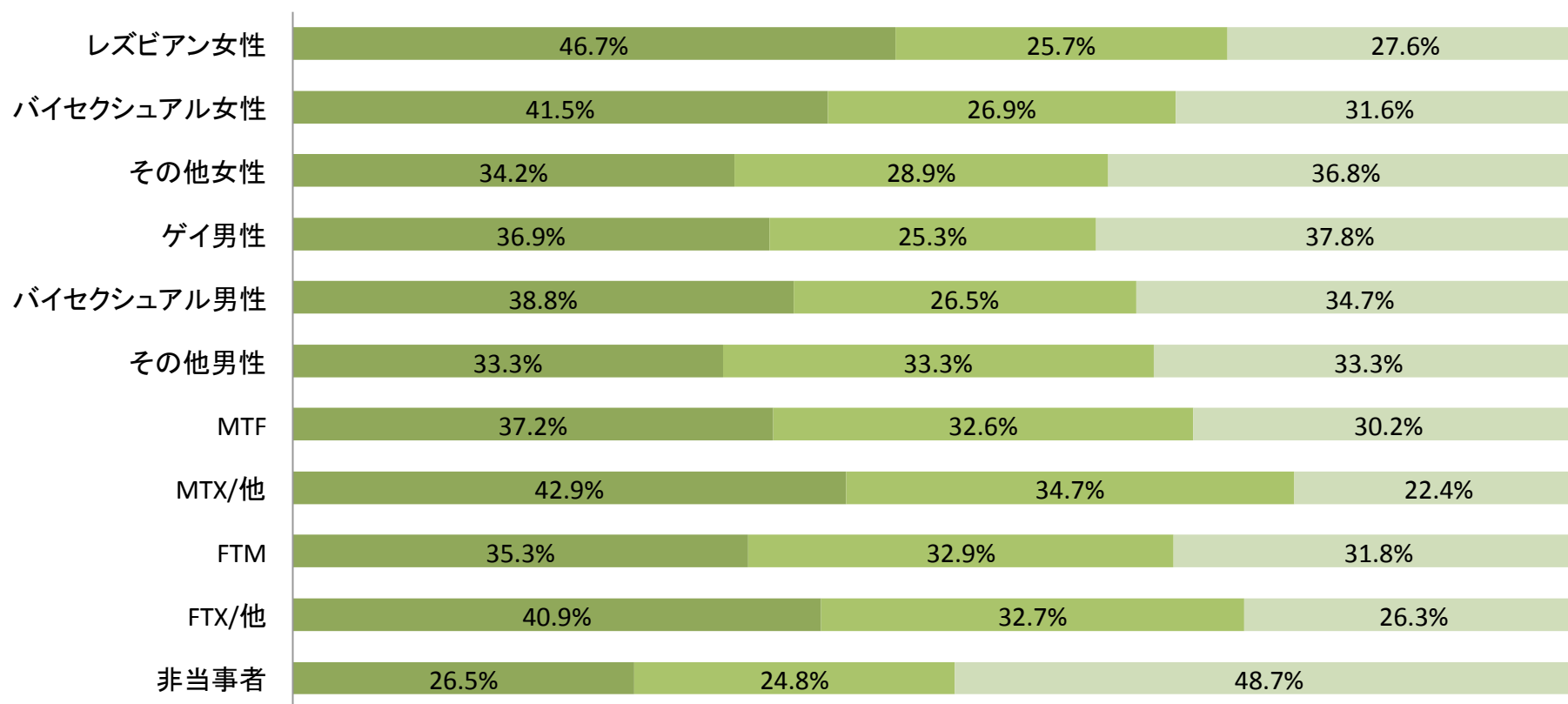
2012年 非正規労働者比率38.2%、男性のみ22.1%、女性のみ57.5%(就業構造基本統計調査)

N=

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
213	238	40	351	49	6	43	49	85	176	487

10 会社規模

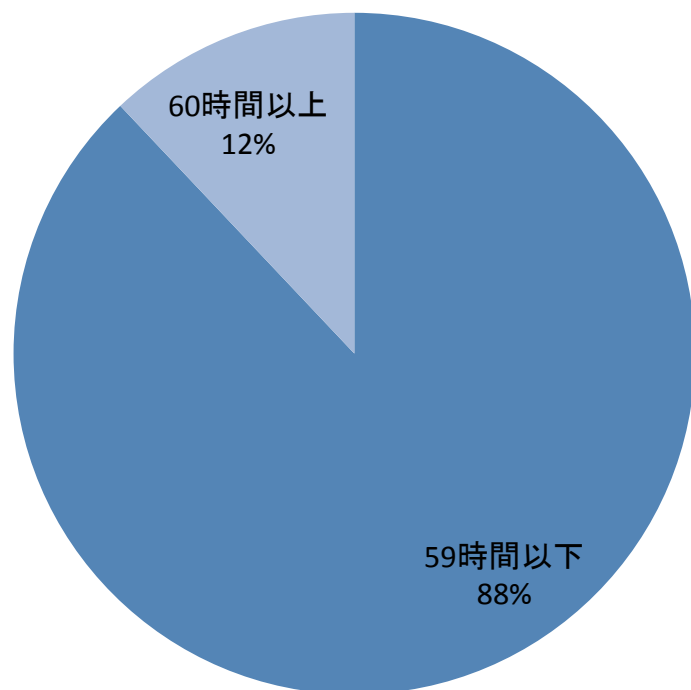
■ 1-99人 ■ 100-999人 ■ 1000以上、官公庁



N=	レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
	210	234	38	344	49	6	43	49	85	171	476

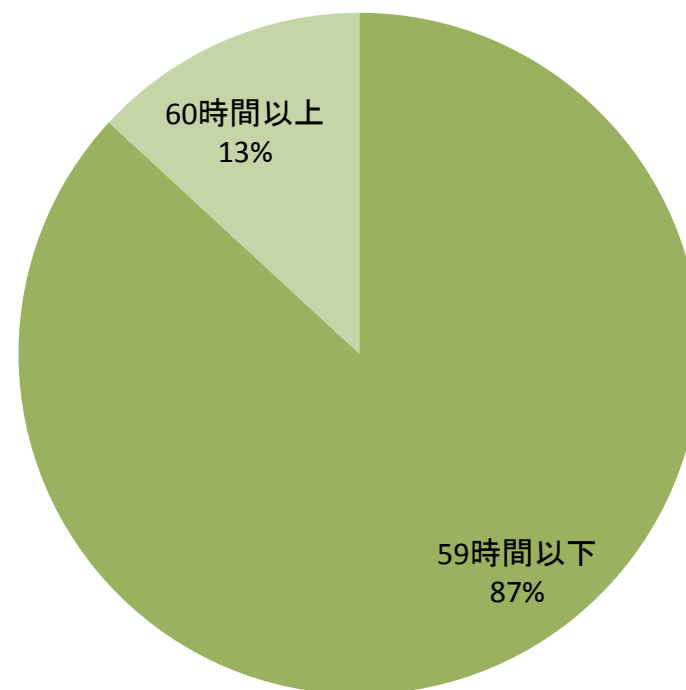
11 労働時間

当事者



N=1,220

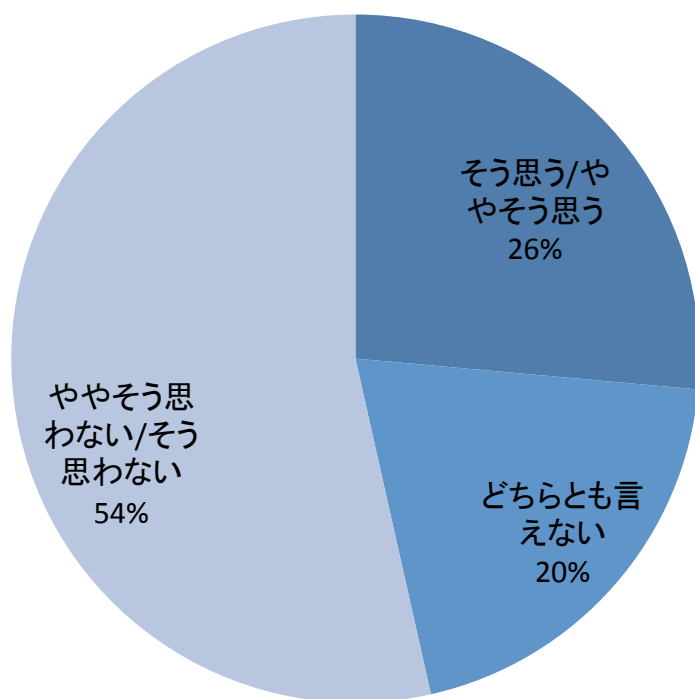
非当事者



N=472

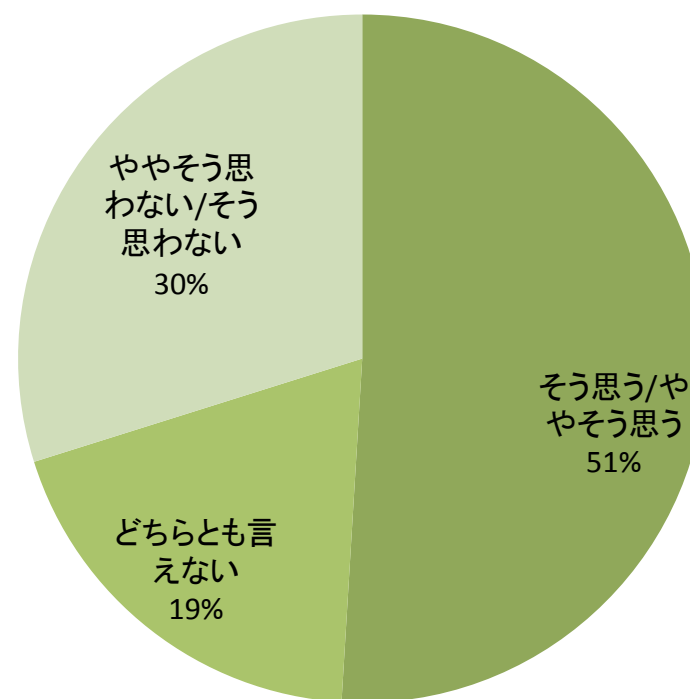
12 ダイバーシティ意識の浸透

当事者



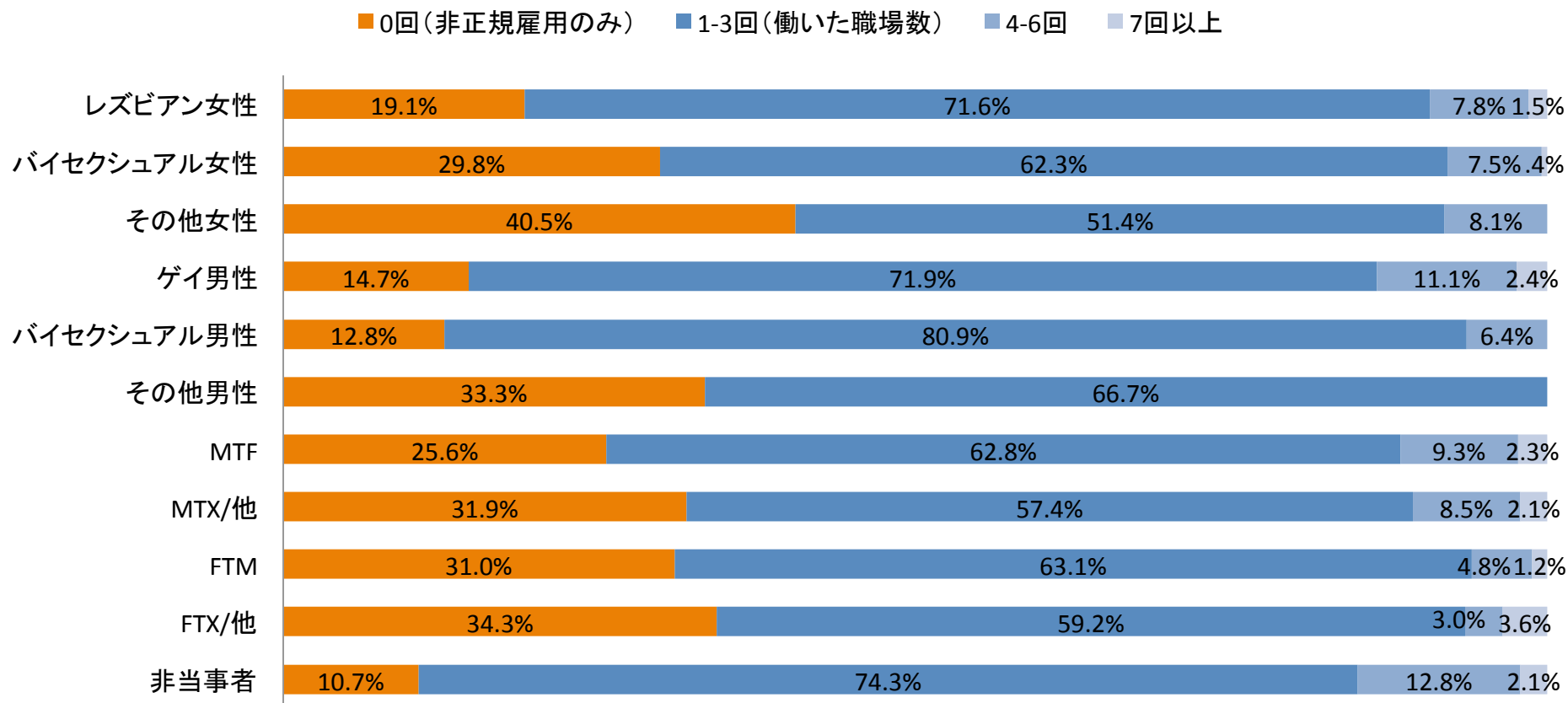
N=1,207

非当事者



N=469

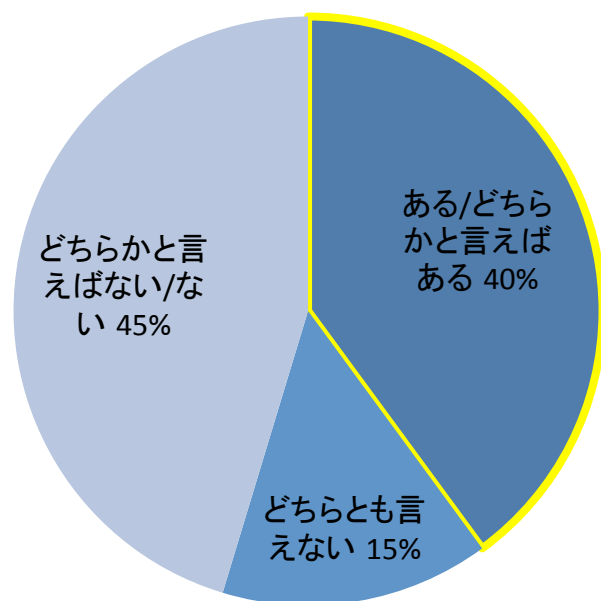
13 転職回数



N=	レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	非当事者
	204	228	37	334	47	6	43	47	84	169	467

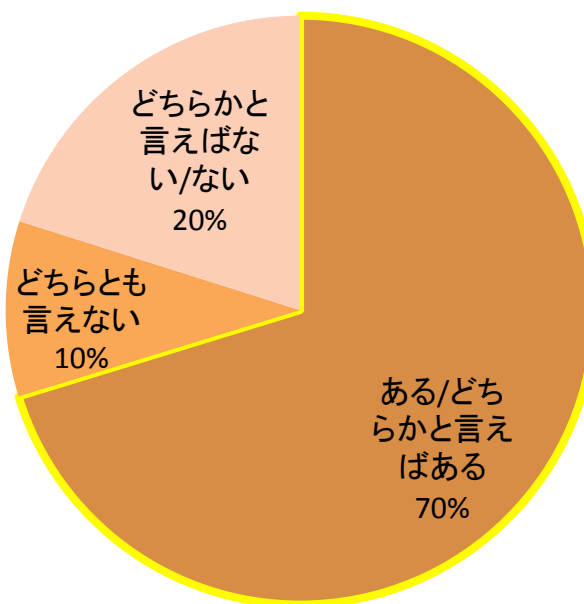
14 求職時の困難

LGBその他



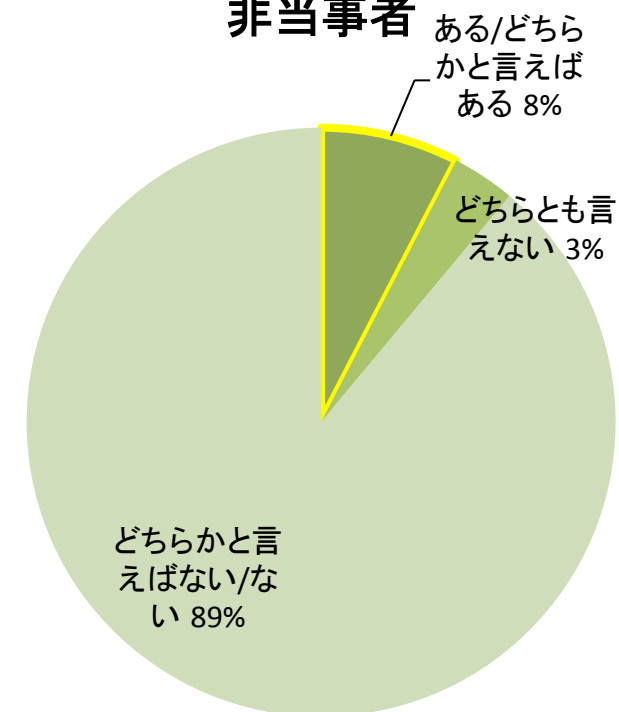
N=854

トランスジェンダー



N=343

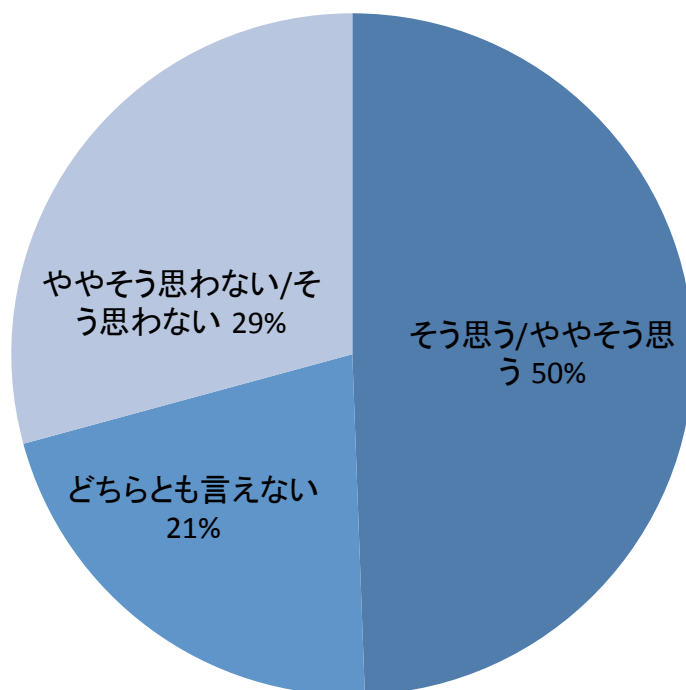
非当事者



N=461

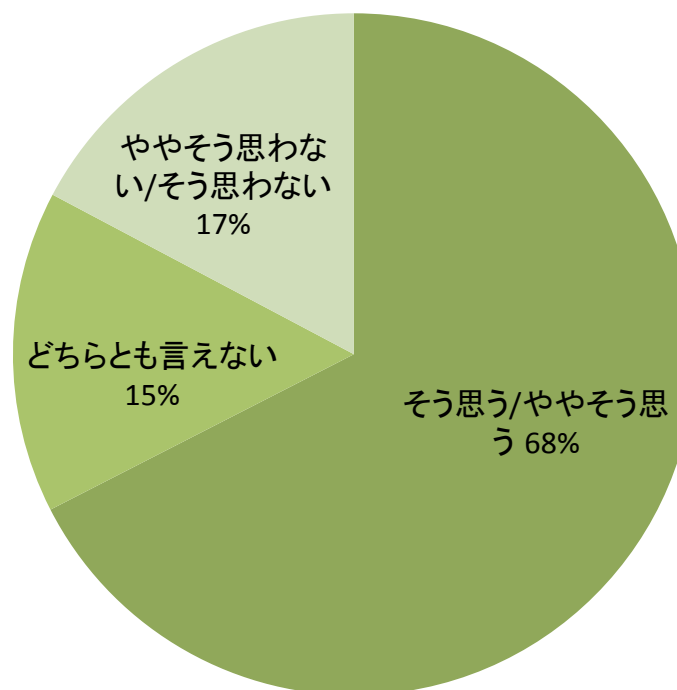
15 勤続意欲

当事者



N=1,194

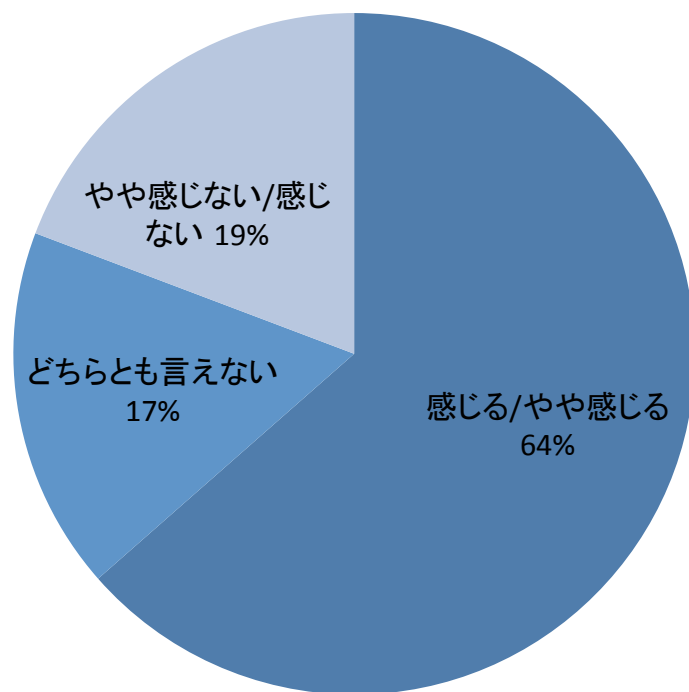
非当事者



N=458

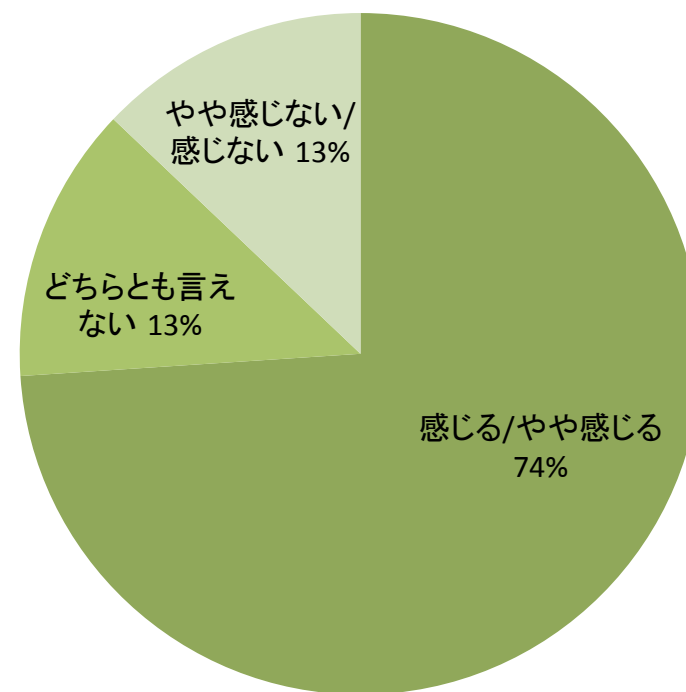
16 やりがい

当事者



N=1,190

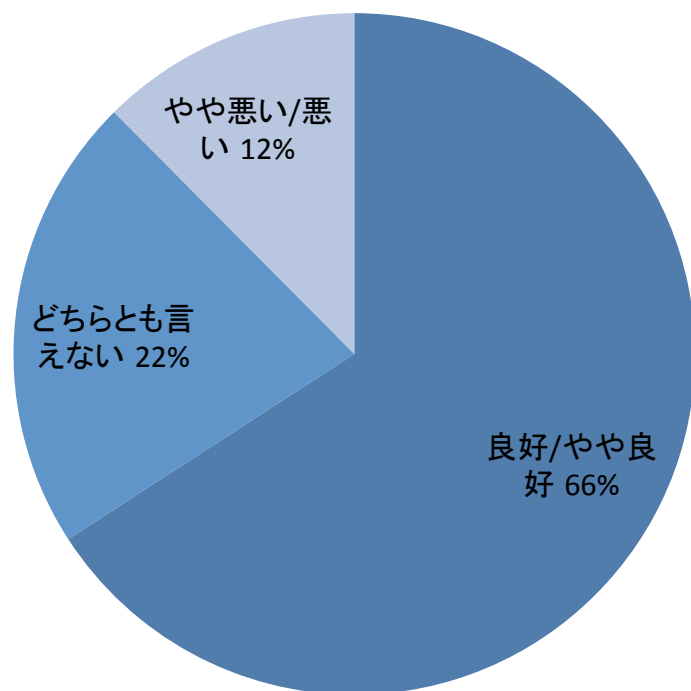
非当事者



N=457

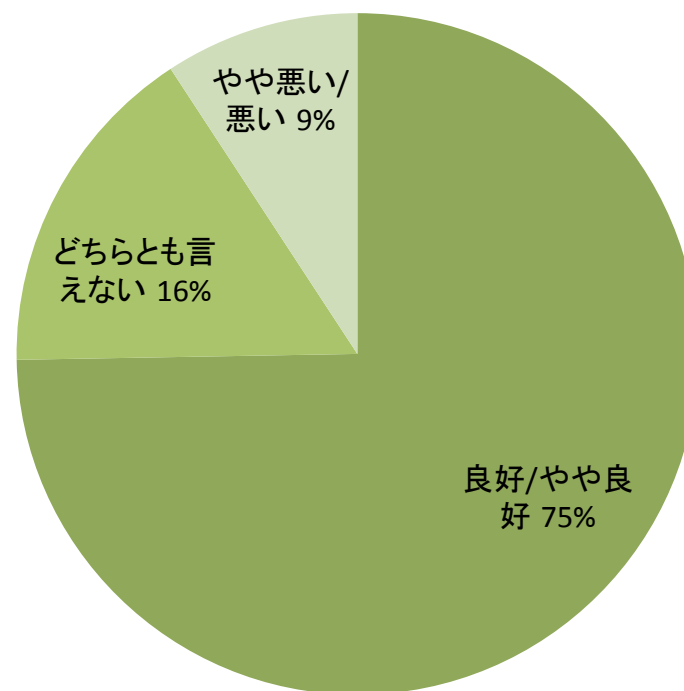
17 人間関係

当事者



N=1,189

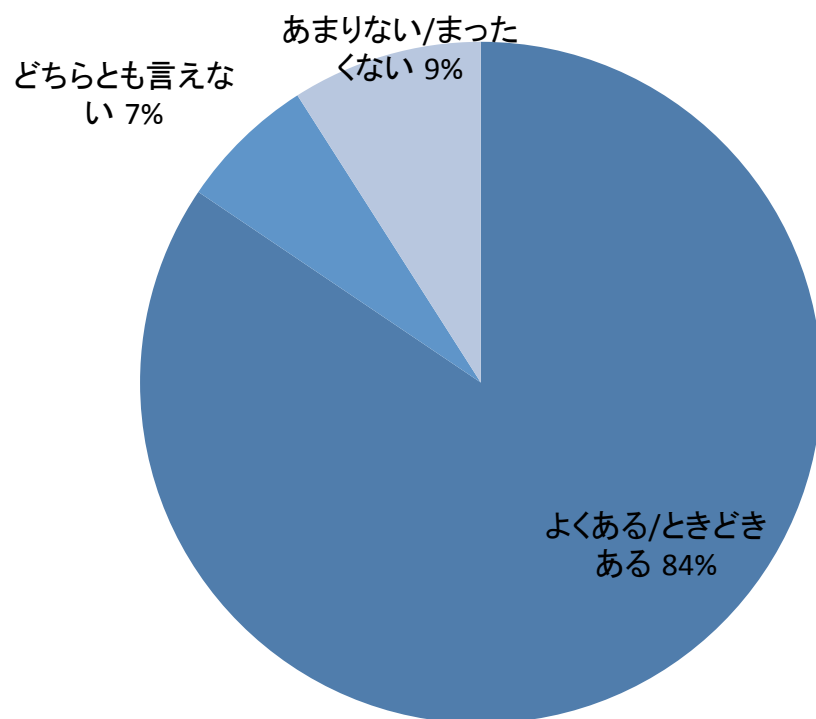
非当事者



N=455

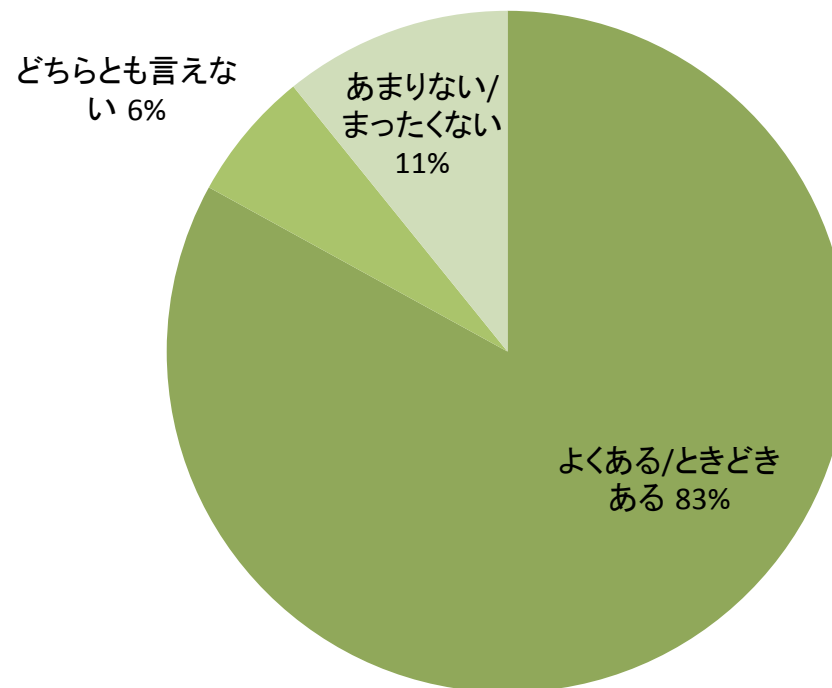
18 ストレス

当事者



N=1,183

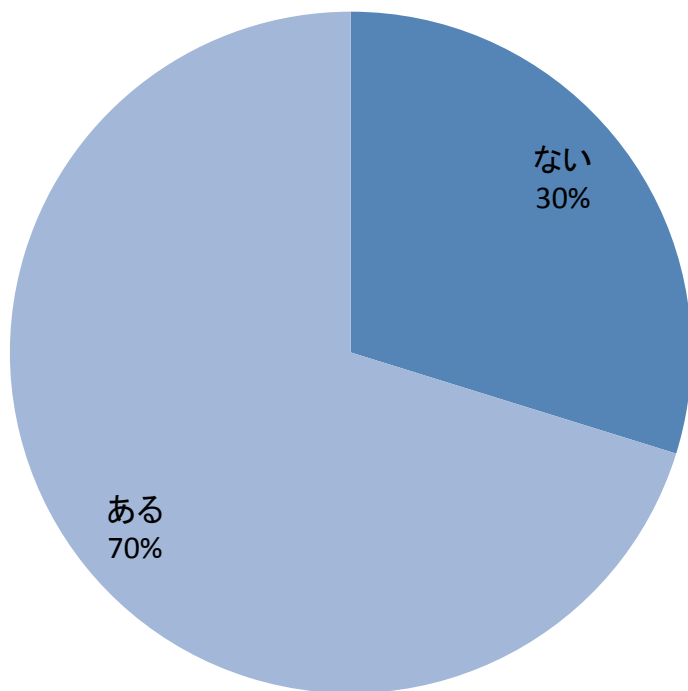
非当事者



N=453

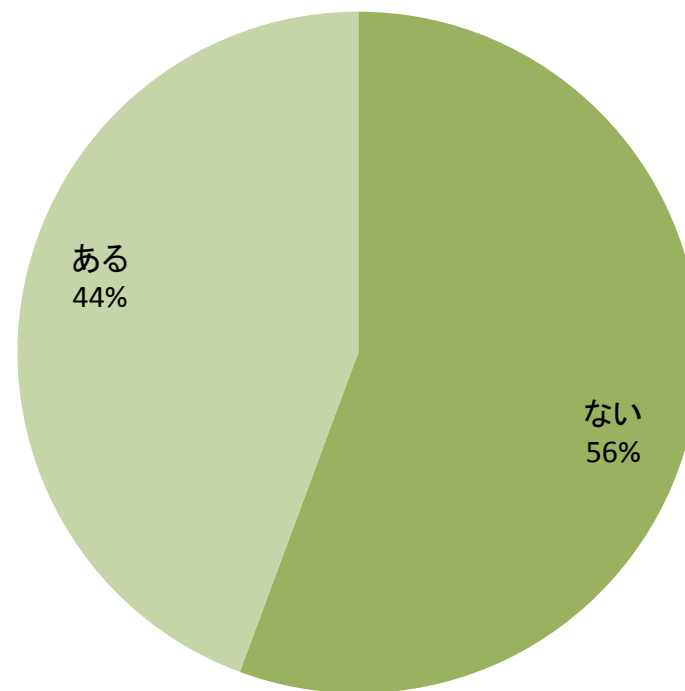
19 差別的言動

当事者



N=1,178

非当事者



N=451

20 差別的言動の事例

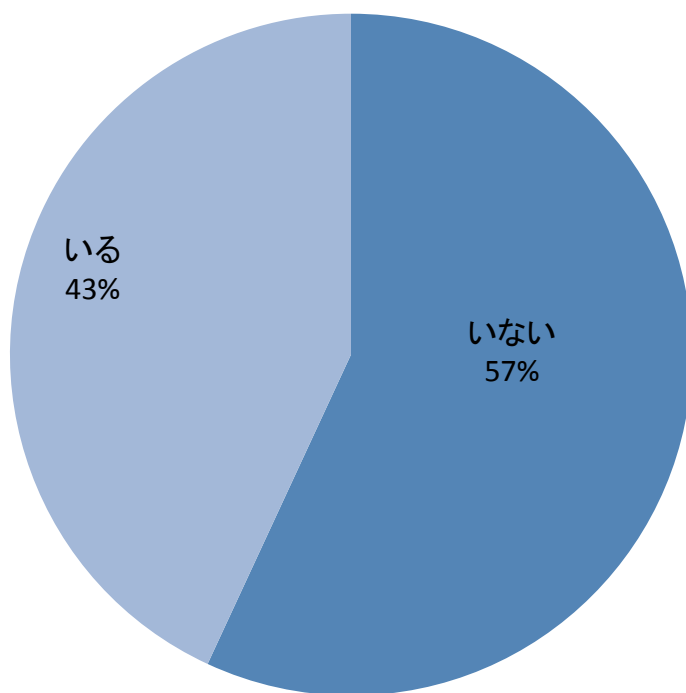
分類	差別的言動	年代	セクシュアリティ
ストーカー	カミングアウトしたら、職場の人がストーカーになった。仕方なく退職したが、退職後も電話があり、怖くて番号を変更した。	30代	レズビアン
差別的言動	性同一性障害だと職場でバレたら、「ズボンをおろすぞ」など、からかわれた。「解雇するか迷ったが、そのまま雇ってあげてるのだから、人一倍頑張る」と言われた。	30代	MTF
就職差別	(MTFトランスジェンダーだと)カミングアウトして就職活動をしたら、すべての会社を落ちた。同じ会社の違う店舗で、カミングアウトせずに受けたら、すぐに合格した。	30代	MTF
解雇	就業時間中には「男だったら頑張れ」、歓送迎会では「男なのに女みたいな甘い酒を飲むのか」などという発言がある職場。毎日のように「もっと女らしくしなさい」と上司や先輩に言われた。「そんなのはおかしい」と反論したら、解雇されてしまった。次に働くところも同じような状況だったらと思うと、仕事を探す気になれない。	20代	FTX
いじめ	性同一性障害者だとカミングアウトしたら、机やロッカーに虫の死骸を置かれたり、椅子に画鋏を置かれたりという、程度の低いいじめがあった。	10代	FTM

※回答者のプライバシー保護のため、原文を虹色ダイバーシティで要約・加工しています(大意は変えていません)

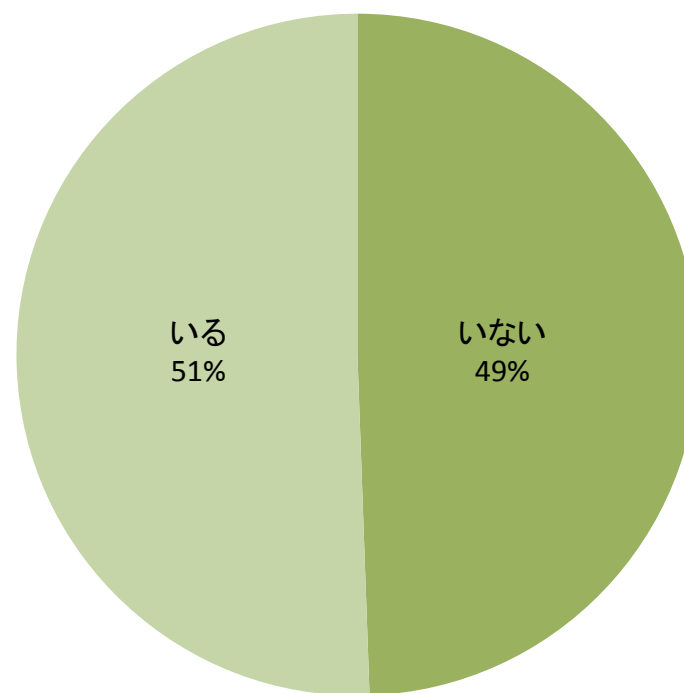
21 アライ(支援者)

当事者

非当事者

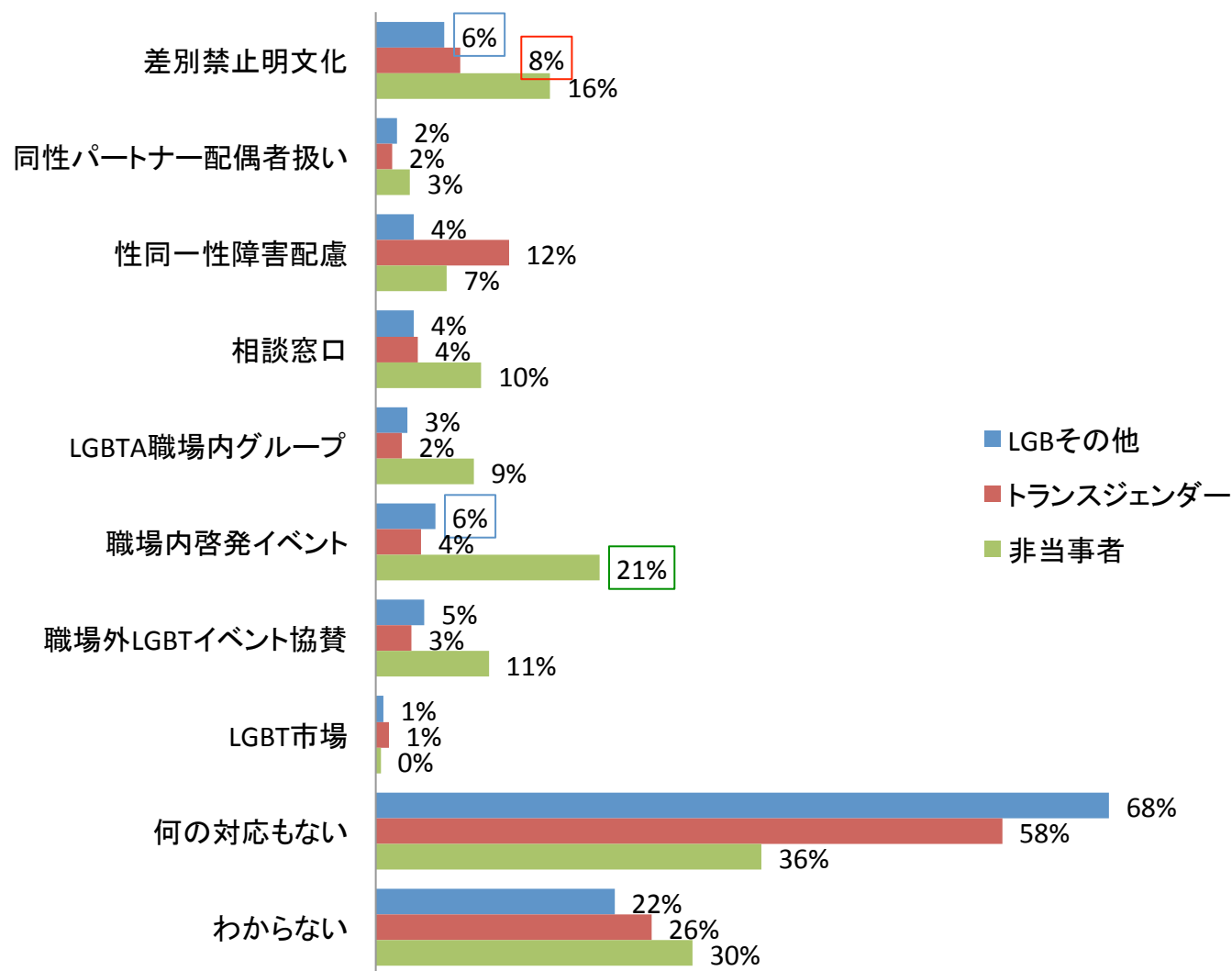


N=1,151

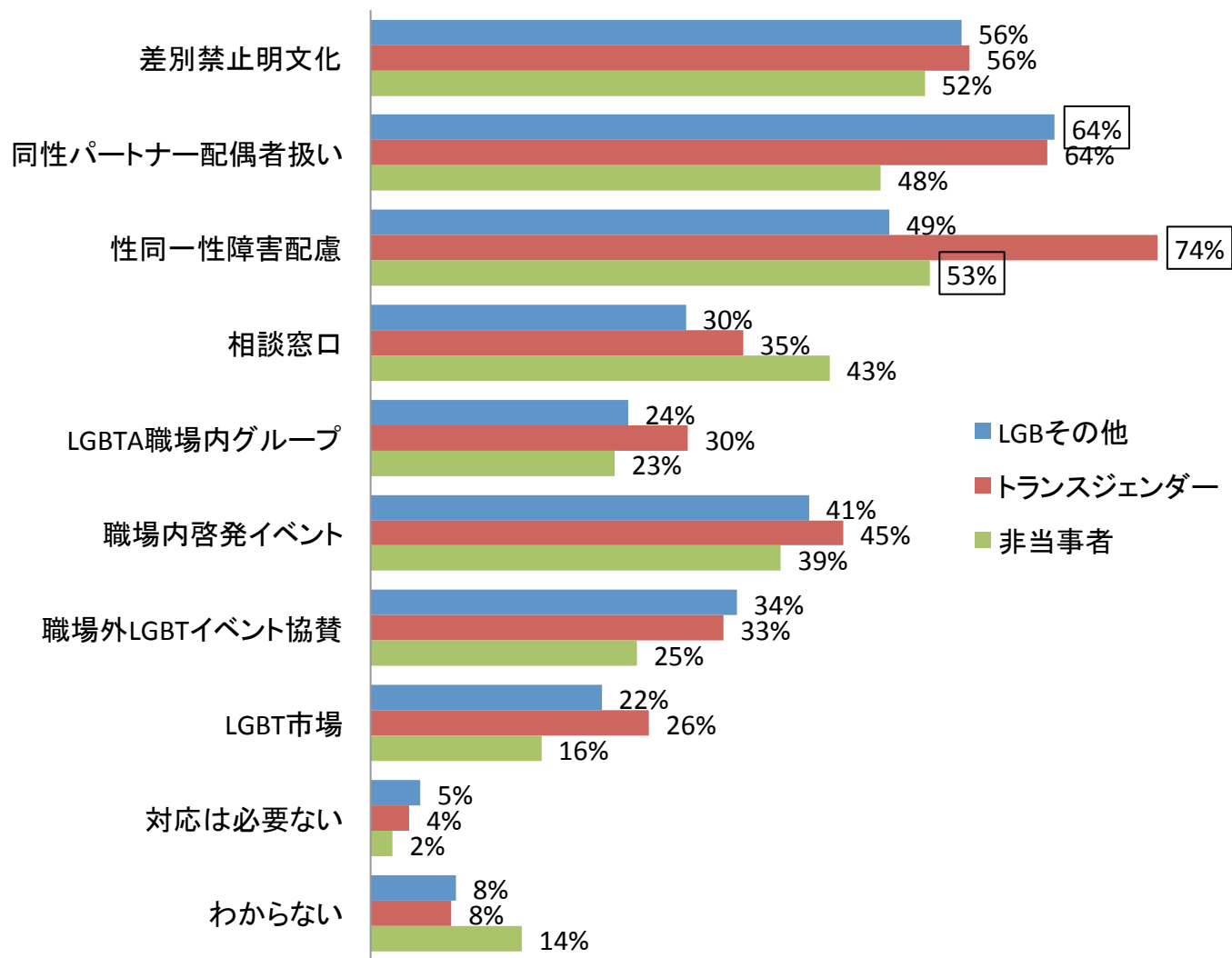


N=441

22 LGBT施策・実際



23 LGBT施策・希望



24 カミングアウト

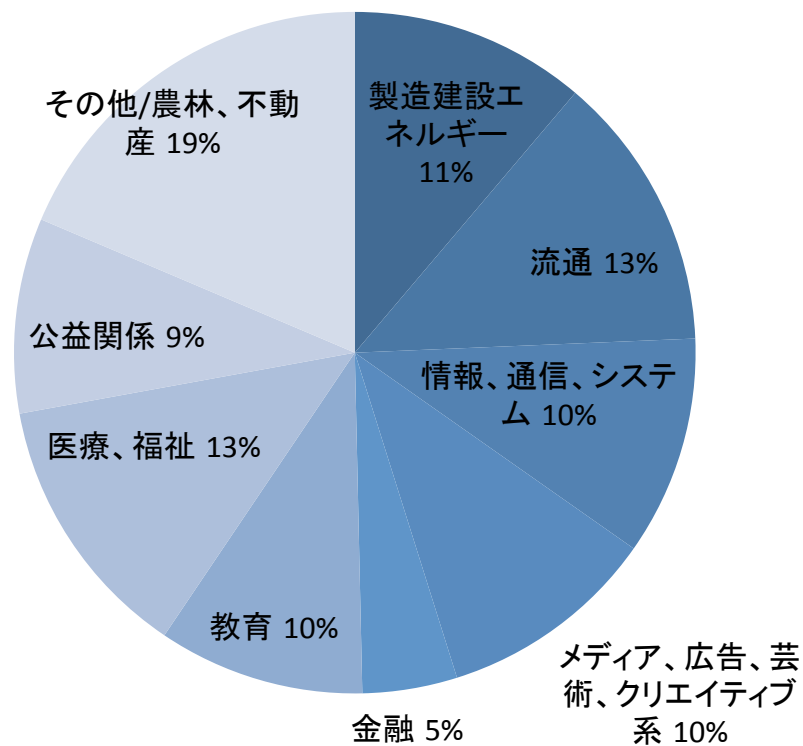
	レズビアン 女性	バイセク シュアル女 性	その他女 性	ゲイ男性	バイセク シュアル男 性	その他男 性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計
誰にもして いない	2%	10%	48%	0%	12%	40%	0%	0%	1%	2%	5%
友達にして いる	94%	83%	41%	93%	85%	60%	93%	91%	95%	94%	90%
家族	57%	36%	10%	49%	39%	0%	81%	67%	81%	50%	51%
職場	43%	28%	7%	40%	33%	20%	69%	49%	56%	30%	39%
その他でし ている	10%	16%	21%	17%	15%	20%	38%	37%	21%	20%	18%

N=

レズビアン女 性	バイセクシュア ル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュア ル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計
186	184	29	291	33	5	42	43	78	141	1032

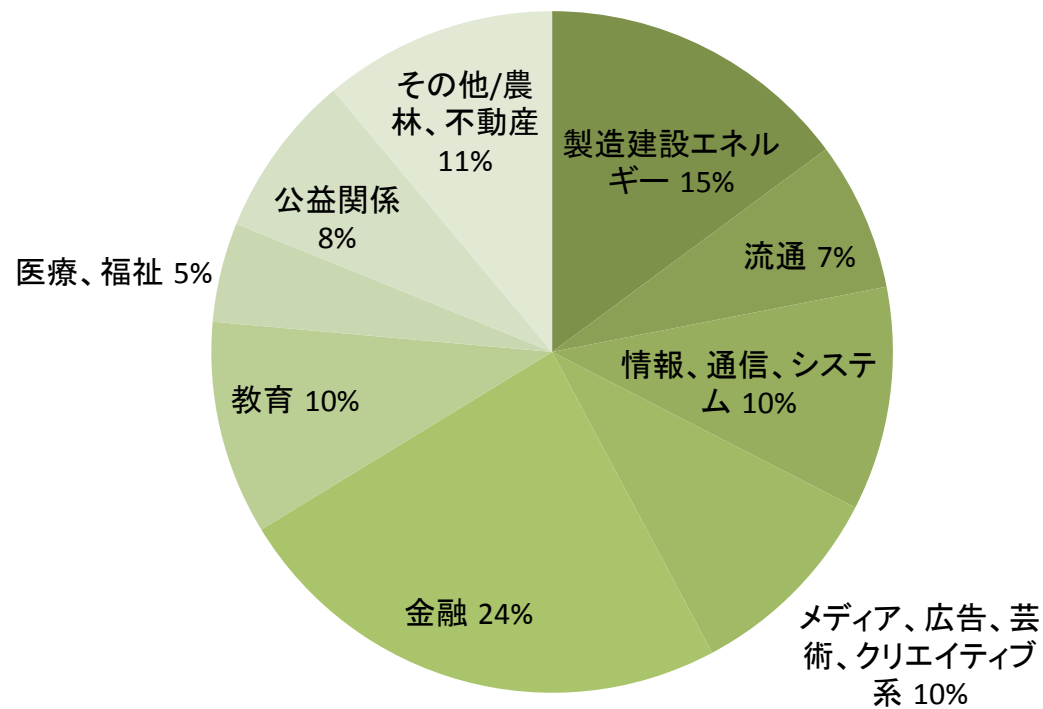
25 業界

当事者



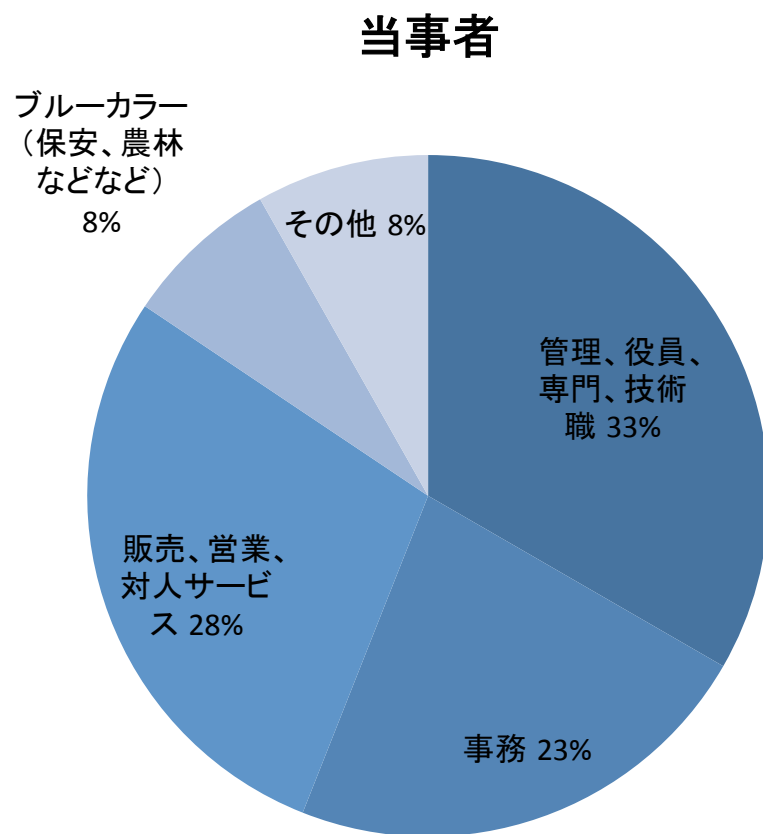
N=1,134

非当事者

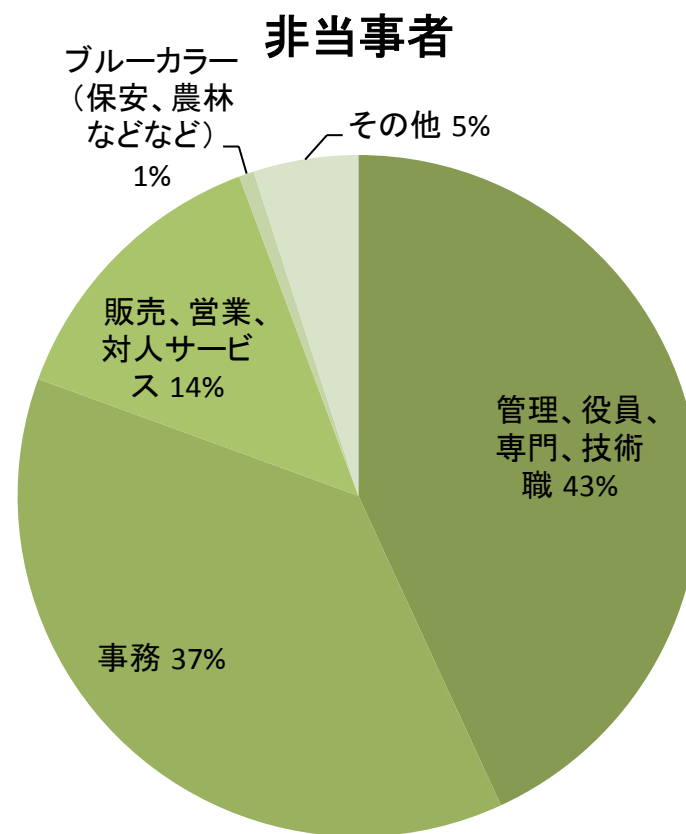


N=424

26 業種



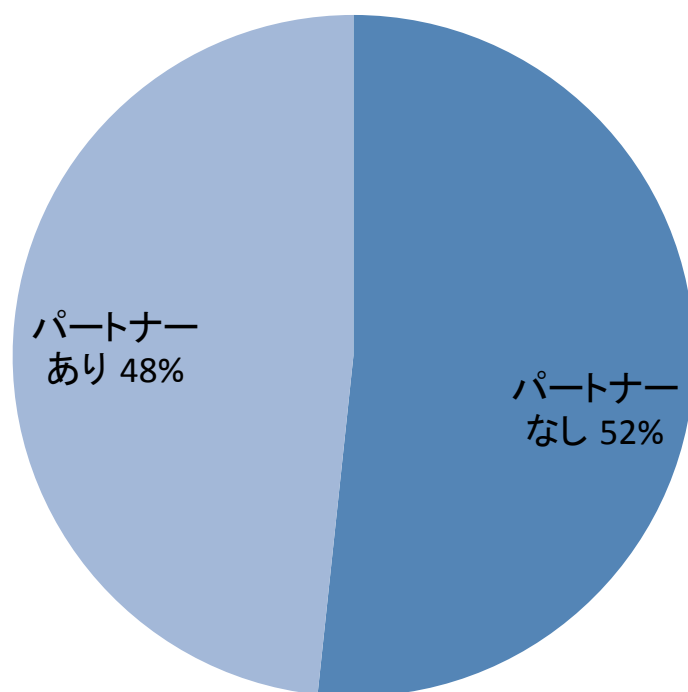
N=1,134



N=422

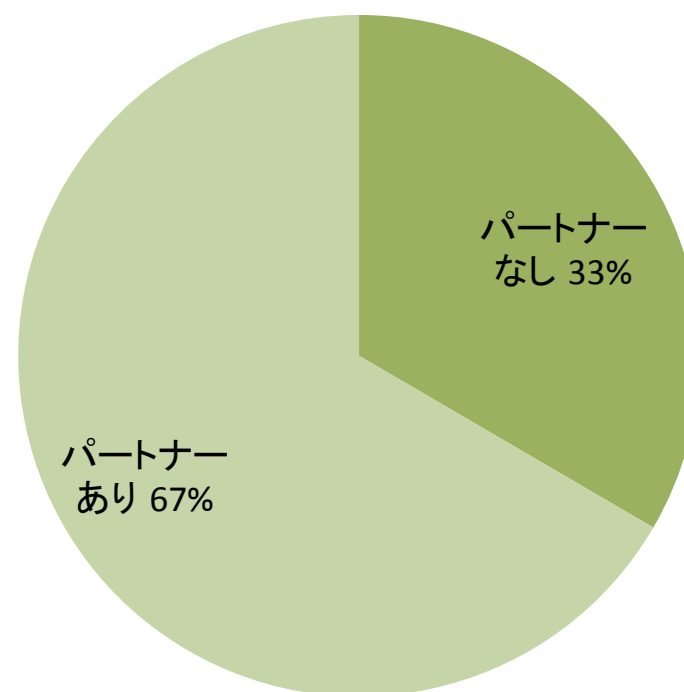
27 パートナー関係

当事者



N=1,132

非当事者

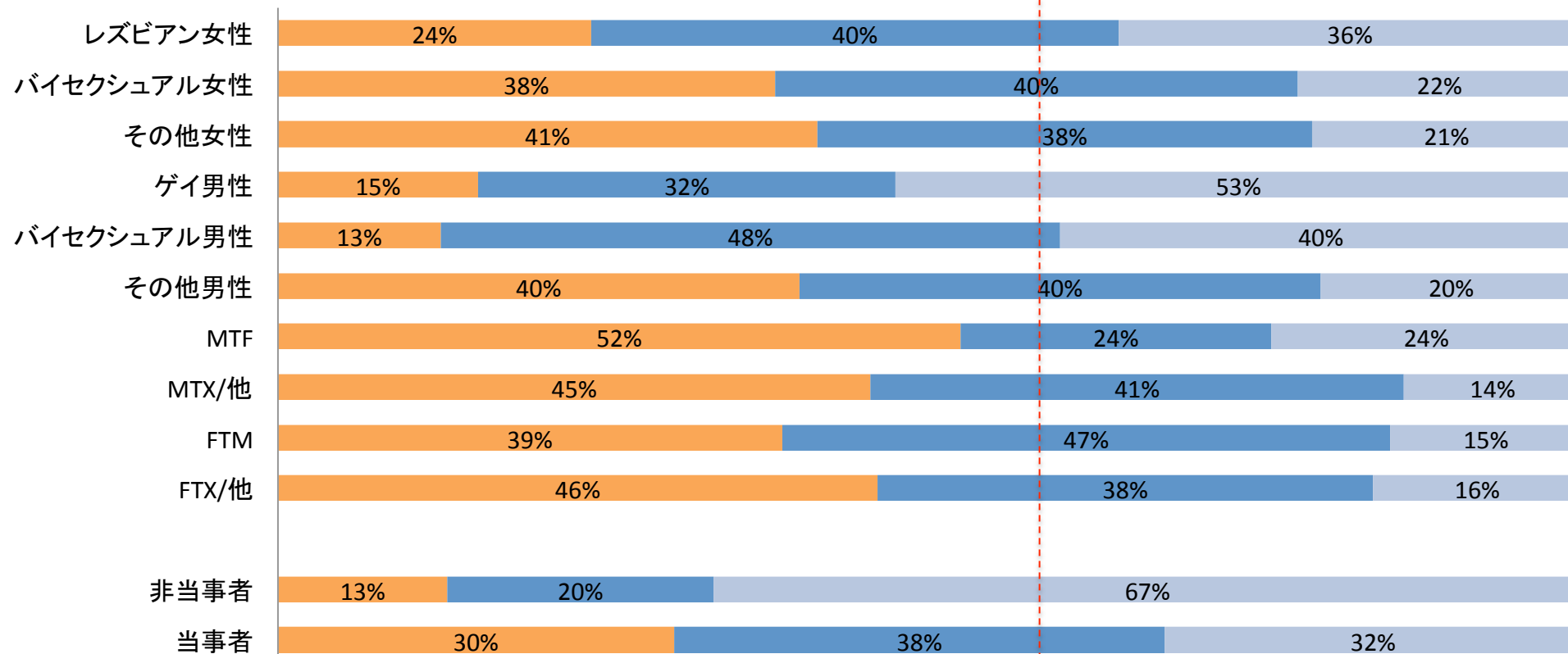


N=422

属性別基礎集計表

28 年収

■ 低0-199万円 ■ 中200-399万円 ■ 高400万円以上



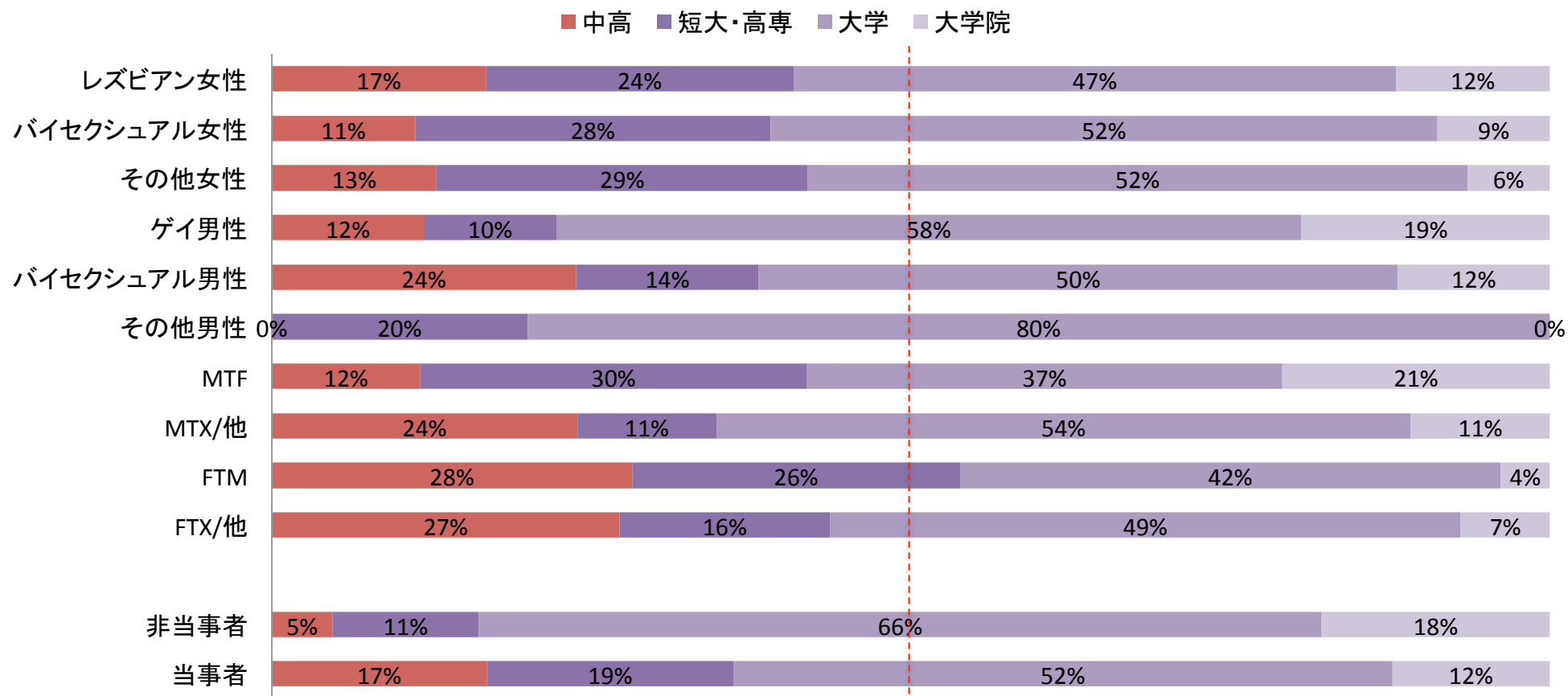
N=

400万円未満の比率 59.0% 2012国税庁(給与所得者の平均年収 408万円)

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者計	非当事者
183	202	29	306	40	5	42	44	75	150	1076	392

属性別基礎集計表

29 学歴



N=

大学進学率 49.9% 2013年 学校基本調査

レズビアン女性	バイセクシュアル女性	その他女性	ゲイ男性	バイセクシュアル男性	その他男性	MTF	MTX/他	FTM	FTX/他	当事者	非当事者
191	205	31	319	42	5	43	46	78	158	1118	420

30 感想

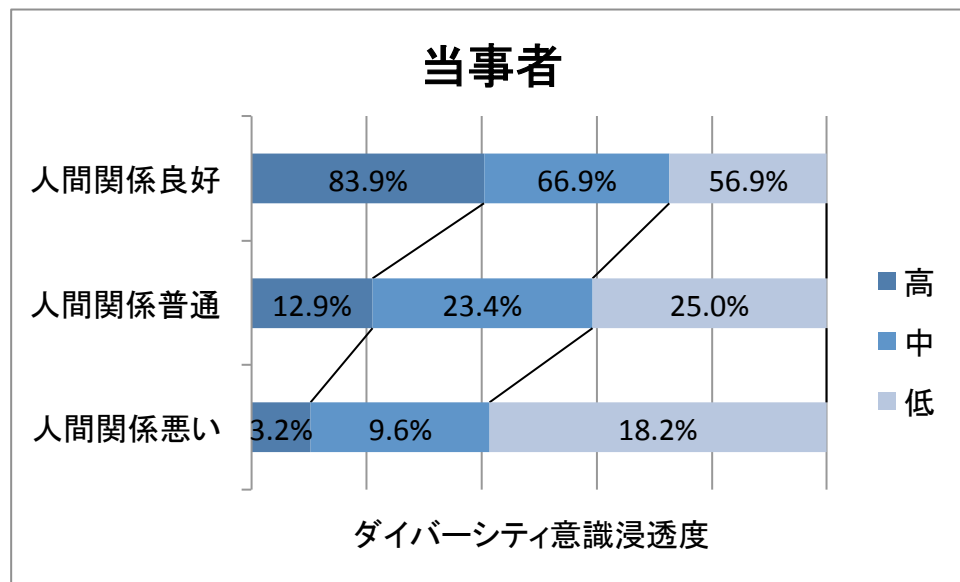
- 自由記載の設問に対し、553名が回答
- テキスト分析は、今後ジェンダー研究センターで実施予定

その他のデータ間の関連

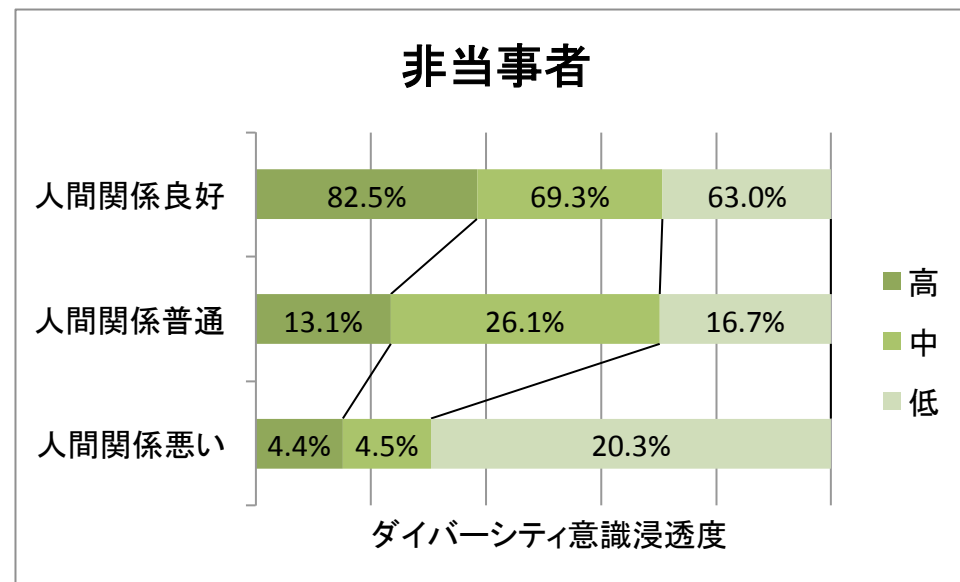


NIJIIRO DIVERSITY
虹色ダイバーシティ

ダイバーシティ意識×人間関係



N=1,189人



N=455人



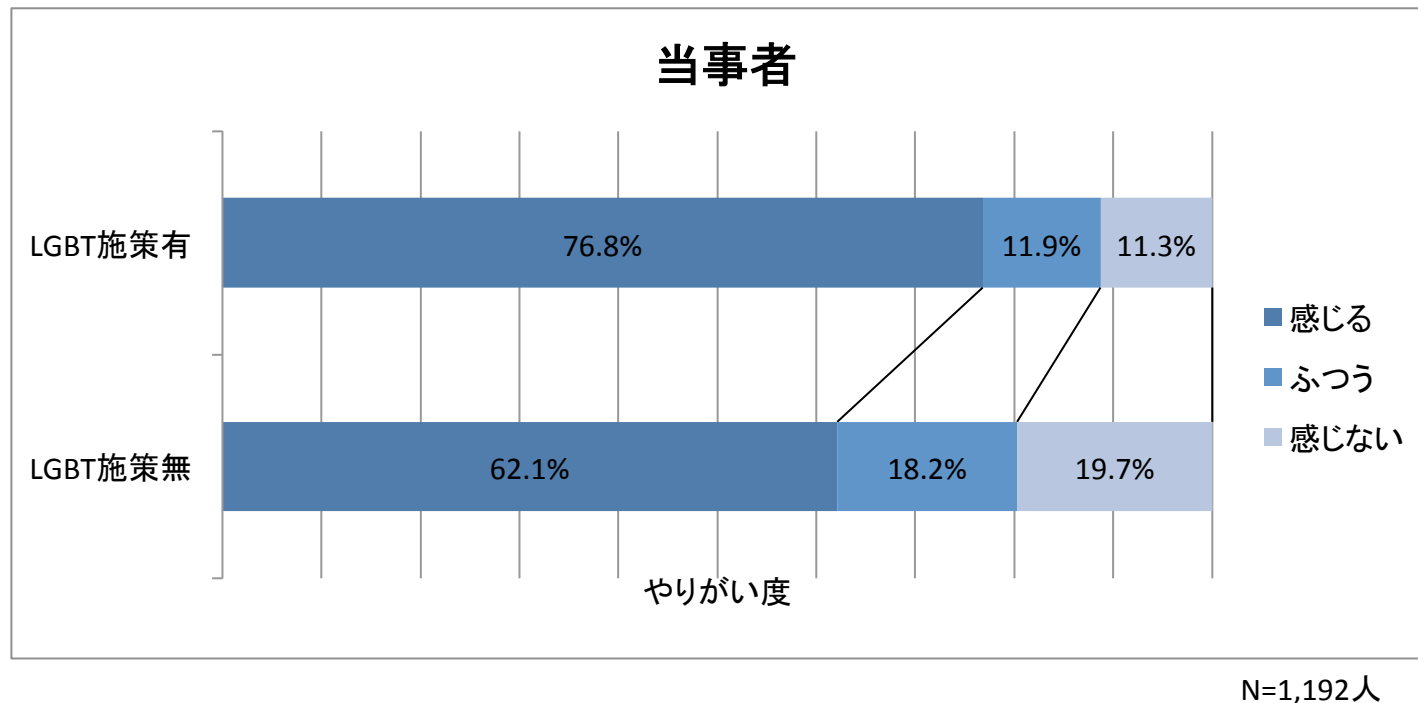
ダイバーシティ意識と人間関係に関連がある



ダイバーシティ施策が進んでいて、女性や障がい者も働きやすいと感じる職場ほど、職場の人間関係もよいと感じている（個人が大切にされている感じがあるのでは？）



LGBT施策×やりがい

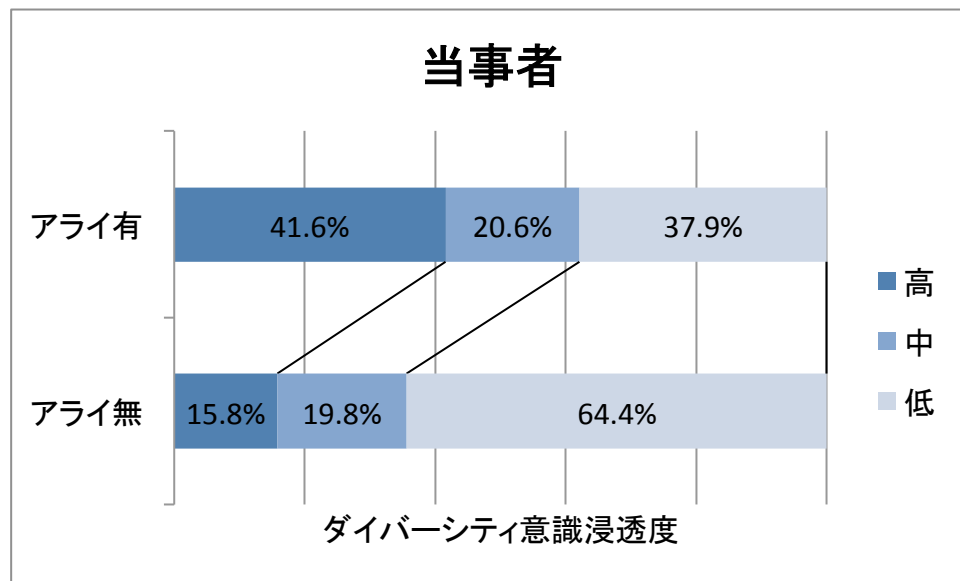


✓ 当事者にとって、LGBT施策とやりがいに関連がある

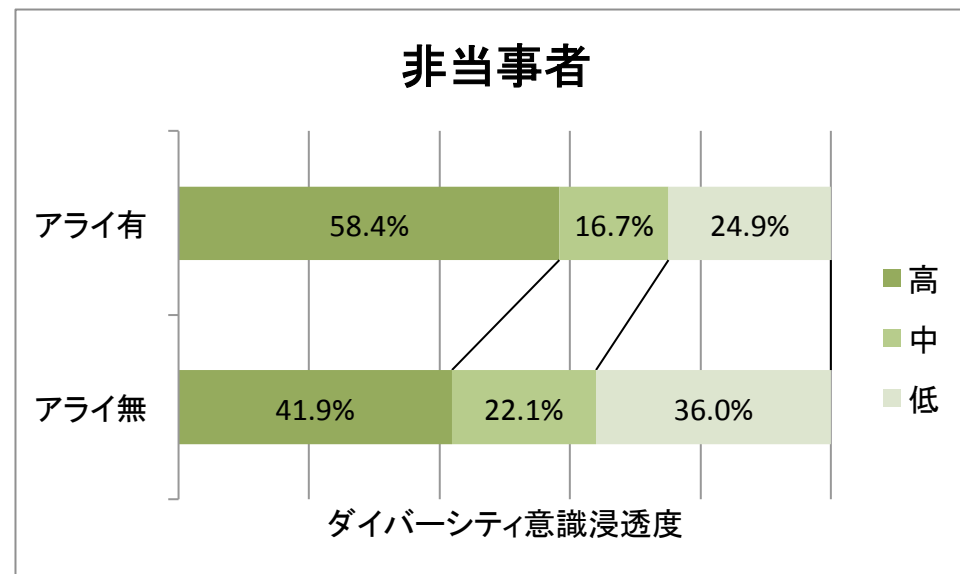
! 職場で何らかのLGBT施策をしている方が、仕事へのやりがいが高まる（生産性に影響？）

⑤

アライ×ダイバーシティ意識



N=1,137人



N=455人



アライの有無とダイバーシティ意識に関連がある

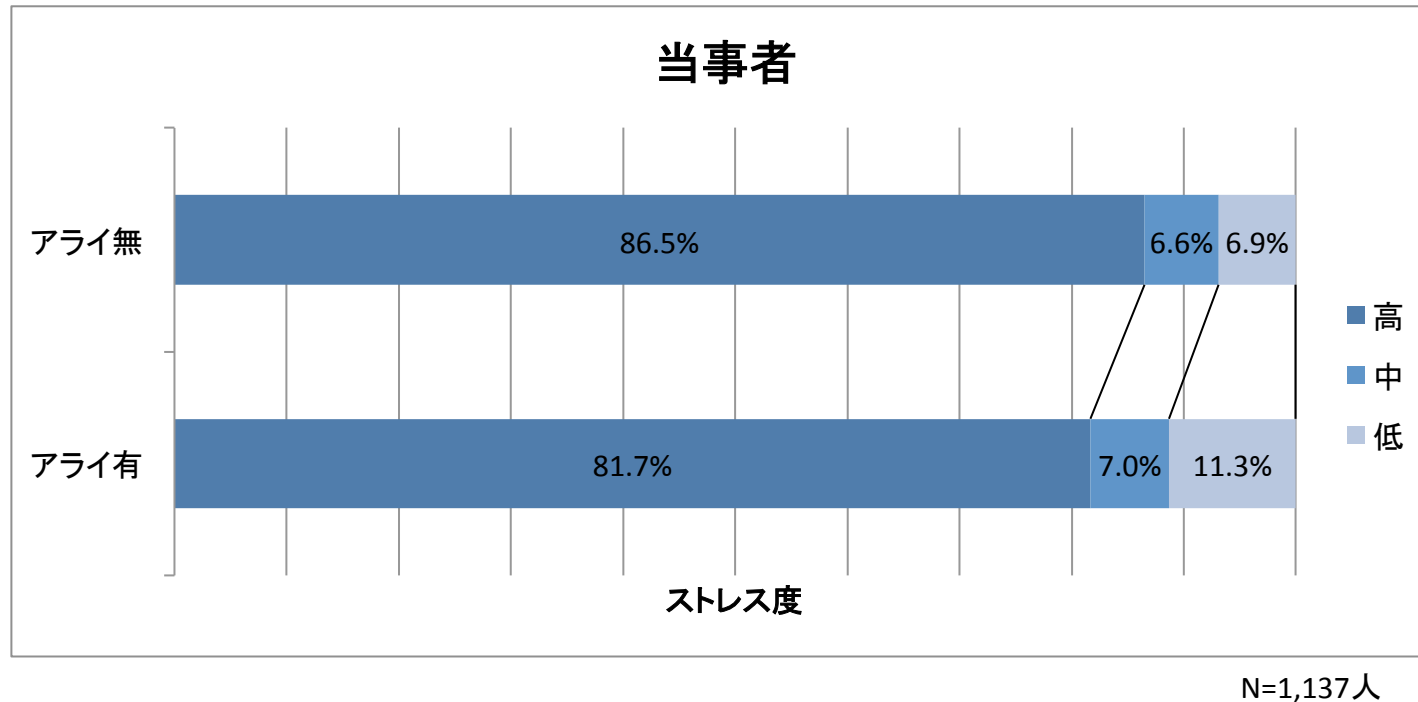


アライのいる職場の方が、ダイバーシティ意識浸透度が高くなる



⑥

アライの有無×ストレス



当事者にとって、アライの有無とストレスには関連がある

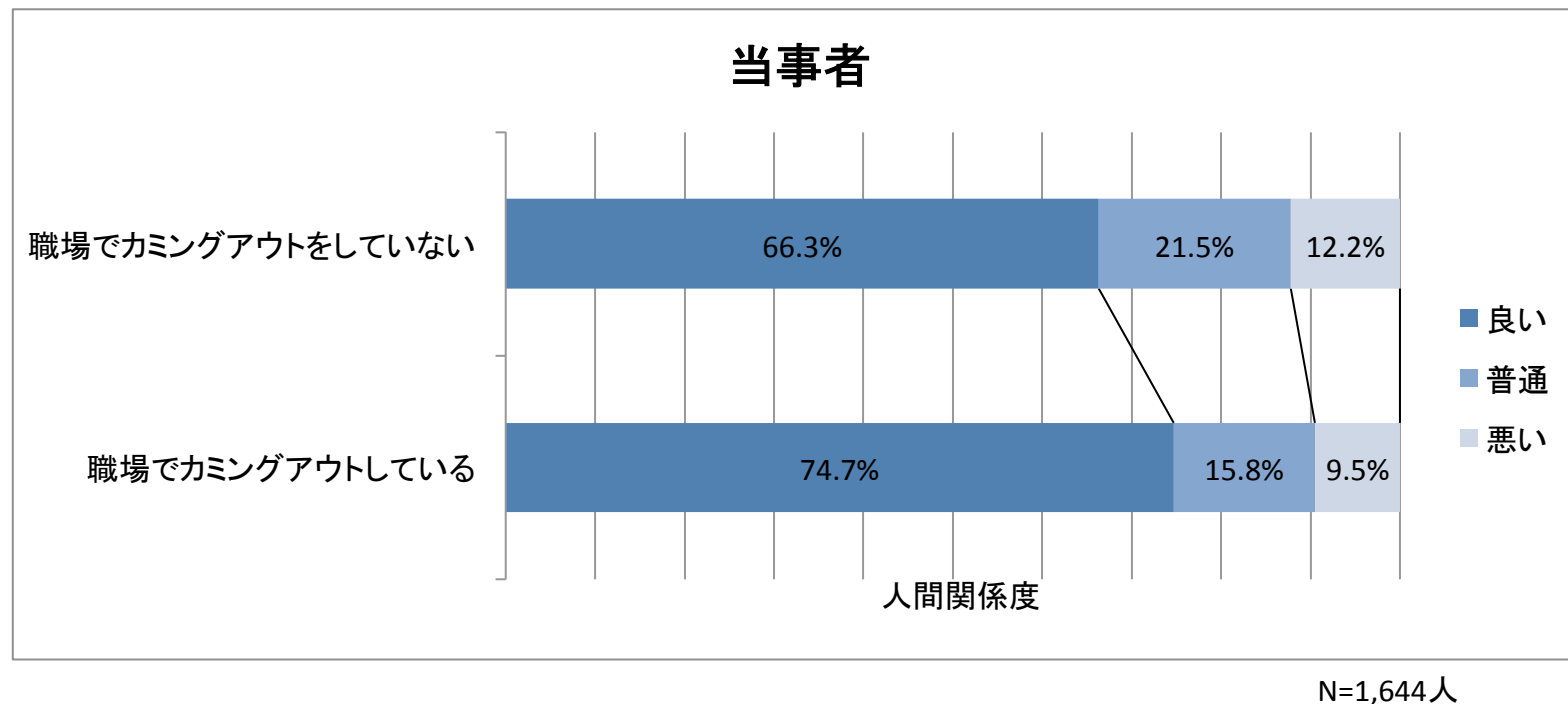


アライがいることで、当事者の職場でのストレスが軽減される



⑨

カミングアウト×人間関係

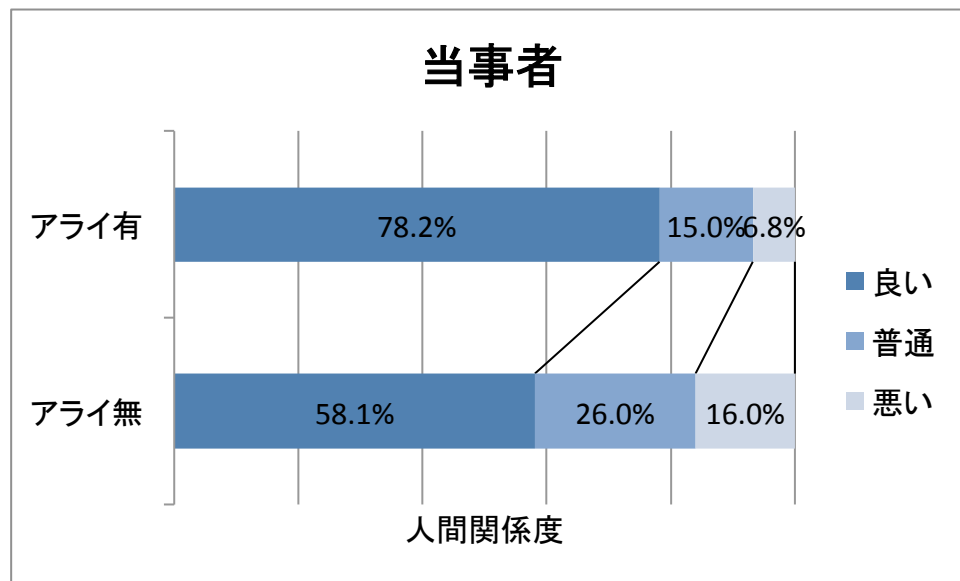


✓ 当事者にとって、カミングアウトと人間関係に関連がある

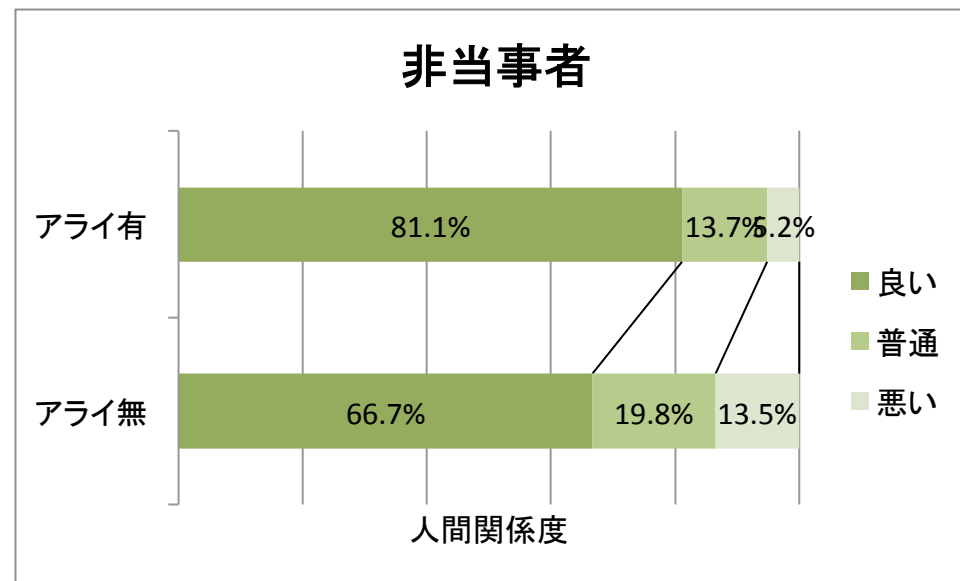
! 職場の人間関係が良いとカミングアウトしやすい あるいは、カミングアウトすると人間関係がよくなる(前回調査では悪いという回答も多かったので要注意)

⑩

アライの有無×人間関係



N=1,137人



N=455人



アライ(LGBTの理解者、支援者)の有無と人間関係に関連がある



アライがいると知っている方が、人間関係が良いと感じられる



タイトル「LGBTに関する職場環境アンケート」

このアンケートは、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字）等の性的マイノリティが働きやすい職場づくり、及び、性的マイノリティも含む職場のダイバーシティ施策推進のための調査です。日本の職場で働いた経験のある方でしたらどなたでも回答できますので、是非ご協力をお願いいたします。アンケートの結果は、統計処理の上、虹色ダイバーシティのホームページ等で公開予定です。

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ

【年齢】

あなたの年齢をお答えください。

歳（数字入力）

【性自認】

あなたが現在自認している性別をお答えください。

男性

女性

Xジェンダー・中性

その他

【出生時の性別】

あなたが出生時に戸籍や出生届に記載された性別をお答えください。

男性

女性

【職場での性別】

あなたは現在の職場でどの性別として働いているか、お答えください。

男性

女性

Xジェンダー・中性

その他

【性的指向】

あなたが好きになる相手の性別について、お答えください。

男性

女性

両性（男性、女性）

相手の性別は問わない

該当なし（特定の人を好きにならない）

その他

【就業状況】

あなたの現在の就業状況として、もっともあてはまるものをお答えください。

仕事をしている

仕事をしているが、現在は休職中

求職中であり、仕事をしていない

主に通学しており、仕事をしていない（就職活動中含む）

主に家事をしており、仕事をしていない

その他

【日系 / 外資系】

あなたの職場の本社の所在地についてお答えください。（日本の本社が海外企業の子会社である場合は外資系とお答えください）

日本（日系）

海外（外資系）

【都道府県】

あなたの職場の都道府県をお答えください。居住地ではないのでご注意ください。

（選択肢・都道府県）

【雇用形態】

あなたの現在の主な仕事について、雇用形態をお答えください。

正規の職員、従業員

パート、アルバイト

派遣、契約、嘱託（契約期間あり）

会社役員

自営

家事手伝い、内職

その他

【会社規模】

あなたの現在の主な仕事について、会社の従業員の総数をお答えください。（本社、支社、工場等の合算。アルバイトなども含む）

- 1 人
- 2 人～4 人
- 5 人～9 人
- 10 人～19 人
- 20 人～29 人
- 30 人～49 人
- 50 人～99 人
- 100 人～299 人
- 300 人～499 人
- 500 人～999 人
- 1000 人以上
- 官公庁など

【労働時間】

あなたの 1 週間の平均的な労働時間をお答えください。（残業時間含む）

- 15 時間未満
- 15～19 時間
- 20～21 時間
- 22～29 時間
- 30～34 時間
- 35～42 時間
- 43～45 時間
- 46～48 時間
- 49～59 時間
- 60～64 時間
- 65～74 時間
- 75 時間以上

【ダイバーシティ意識】

あなたの職場は、ダイバーシティ（女性、障がい者、外国人など、多様な人材の活用）に対する理解、取り組みは浸透していると思うか、お答えください。

- そう思う
- ややそう思う
- どちらとも言えない
- ややそう思わない
- そう思わない

【転職回数】

あなたが正規の職員、従業員として働いた職場（会社）の数を教えてください。（アルバイトなどの非正規雇用や有期契約のみの方は 0 とお答えください）

（数字入力）0～

【求職時の困難】

あなたの就職、転職活動において、自分のセクシュアリティ（性自認、性的指向など）やパートナーに関連して、何か困難を感じた事があるか、お答えください。

- ある
- どちらかと言えばある
- どちらとも言えない
- どちらかと言えない
- ない

【勤続意欲】

あなたは現在の職場で今後も働きたいと思うか、お答えください。

- そう思う
- ややそう思う
- どちらとも言えない
- ややそう思わない
- そう思わない

【やりがい】

あなたは今の仕事にやりがいを感じているか、お答えください。

- 感じる
- やや感じる
- どちらとも言えない
- やや感じない
- 感じない

【人間関係】

あなたの職場の人間関係について、もっとも当てはまる選択肢を選んでください。

- 良好
- やや良好
- どちらとも言えない
- やや悪い
- 悪い

【ストレス】

職場でストレスを感じることがどの程度あるか、お答えください。

- よくある
- ときどきある
- どちらとも言えない
- あまりない
- まったくない

【差別的言動】

職場の中で性的マイノリティに関する差別的な言動を見聞きした事がどの程度あるか、お答えください。就業時間、休憩時間、就業時間後を含みます。

- よくある
- ときどきある
- どちらとも言えない
- あまりない
- まったくない

【差別的言動の事例】

差別的な言動を見聞きした事がある方は、その内容やその時の気持ちについて、具体例を記載してください。（自由記載）

【アライ】

あなたの職場には性的マイノリティについて理解し、支援してくれる人（アライ）がいるか、お答えください。自分自身がアライである場合も含みます。

- いる
- どちらかと言えばいる
- どちらとも言えない
- どちらかと言えばいない
- いない

【LGBT 施策・実際】

あなたの職場では現在何らかの LGBT 施策をしているか、お答えください。外資系の会社の場合は、日本で適用されている施策を選んでください。（複数回答）

- 差別の禁止の明文化、経営層の支援宣言
- 福利厚生での同性パートナーの配偶者扱い
- 性同一性障害の従業員への配慮
- 相談窓口の設置
- LGBT と支援者（アライ）の職場内グループの運営
- 職場内の啓発イベント（勉強会、意識調査など）
- 職場外の LGBT イベントへの協賛
- LGBT 市場向けのサービスや商品の提供
- その他
- LGBT 対応は必要ない
- 分からない

【LGBT 施策・希望】

職場でどのような LGBT 施策があればいいと思うか、お答えください。すでに施策としてある場合は、今後も継続して欲しいと思うものをお答えください。（複数回答）

- 差別の禁止の明文化、経営層の支援宣言
- 福利厚生での同性パートナーの配偶者扱い
- 性同一性障害の従業員への配慮
- 相談窓口の設置
- LGBT と支援者（アライ）の職場内グループの運営
- 職場内の啓発イベント（勉強会、意識調査など）
- 職場外の LGBT イベントへの協賛
- LGBT 市場向けのサービスや商品の提供
- その他
- LGBT 対応は必要ない
- 分からない

【カミングアウト】

自分が性的マイノリティであることを伝えている（カミングアウトしている）範囲を教えてください。（複数回答）

- 該当なし（性的マイノリティの当事者ではない）
- 誰にもカミングアウトしていない
- LGBT 当事者の友人
- LGBT 以外の友人
- 兄弟姉妹
- 母親
- 父親
- 上司
- 同僚、部下
- 取引先、顧客
- 隣人、地域の人
- その他

【業界】

あなたの職場について、もっともあてはまる業界を教えてください。

農林水産業
製造業、建設業、エネルギー産業
流通業（運輸、旅客、倉庫、卸、小売など）
情報、通信、システム
メディア、広告、芸術、クリエイティブ
金融（銀行、証券、保険など）
不動産
教育
医療、福祉
公益関係（行政、政治、NPO、公益法人など）
その他

【業種】

あなたの仕事について、もっとも当てはまる職種をお答えください。

管理職、役員（会社役員、団体役員、議員など）
専門職、技術職（医師、弁護士、税理士、研究者、エンジニア、デザイナー、記者、教員など）
事務（一般事務、経理、人事、オペレータなど）
販売・営業職（営業、店員など）
対人サービス職（介護士、美容師、調理人、アパート管理人など）
保安職（自衛官、警察官、消防官、警備員など）
農林水産従事者（農耕従事者、造園業など）
工場労働（機械制御・監視員、製造・加工・組立・検査従事者）
運転（運転手、船員、車掌など）
建設・採掘労働（土木従事者、大工など）
運搬・清掃・包装等（郵便配達員、清掃員、ゴミ収集など）
その他

【パートナー関係】

特定のパートナーがいるか、日本における法的なつながりはあるか、お答えください。

パートナーがいて未婚か事実婚
パートナーがいて既婚
パートナーがいて養子縁組
特定のパートナーはいない
その他

【年収】

あなたの現在の年収をお答えください。就業 1 年未満の方は見込みでお答えください。

0～99 万円
100～199 万円
200～299 万円
300～399 万円
400～599 万円
600～999 万円
1000 万円以上
分からない、答えたくない

【学歴】

あなたの最終学歴をお答えください。（卒業、在学中、中退含む）

中学
高等学校
専門学校
短大・高専
大学
大学院
答えたくない

【感想】

このアンケートの感想、職場に関する思いなど、自由に記載してください。
（自由記載）